

### Ⅲ. 中学生の生活に関するアンケート調査

#### 1. 実施概要

##### (1) 調査対象

世田谷区の区立中学校 29 校に在籍する全生徒 11,750 人

##### (2) 調査方法

各学校を通じて、生徒に調査依頼文を配布。生徒は区から貸与されているタブレット等で、依頼文中の二次元コードを読み込み、Web 上のフォームから回答。

##### (3) 調査期間

令和4年5月27日（金）～6月19日（日）

##### (4) 回答状況

調査対象数	有効回答数	有効回答率
11,750	2,626	22.3%

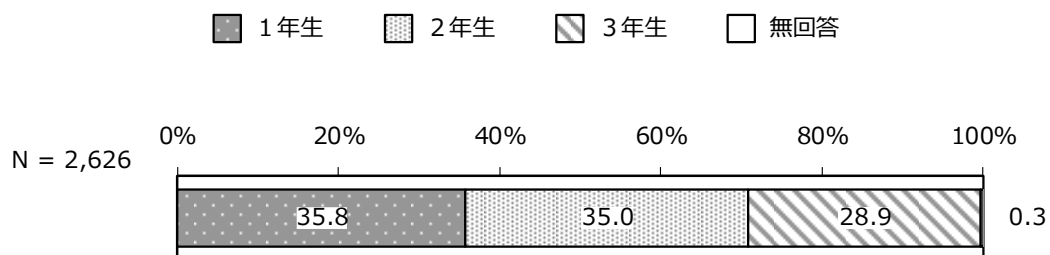
## 2. 調査結果（単純集計）

### （1）基本情報

#### ①学年

回答者の学年は、以下の通り。

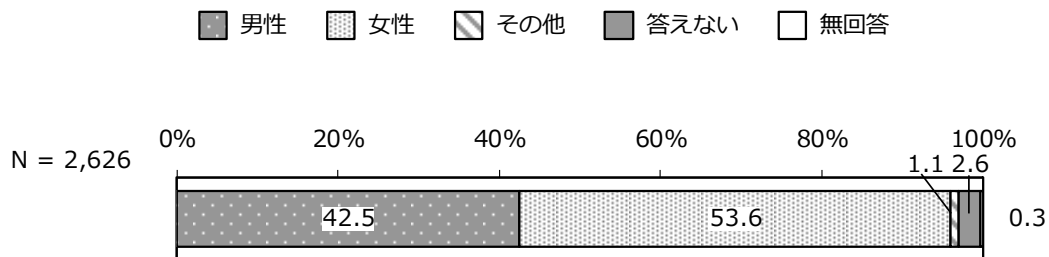
図表 87 学年



#### ②性別

回答者の性別は、以下の通り。

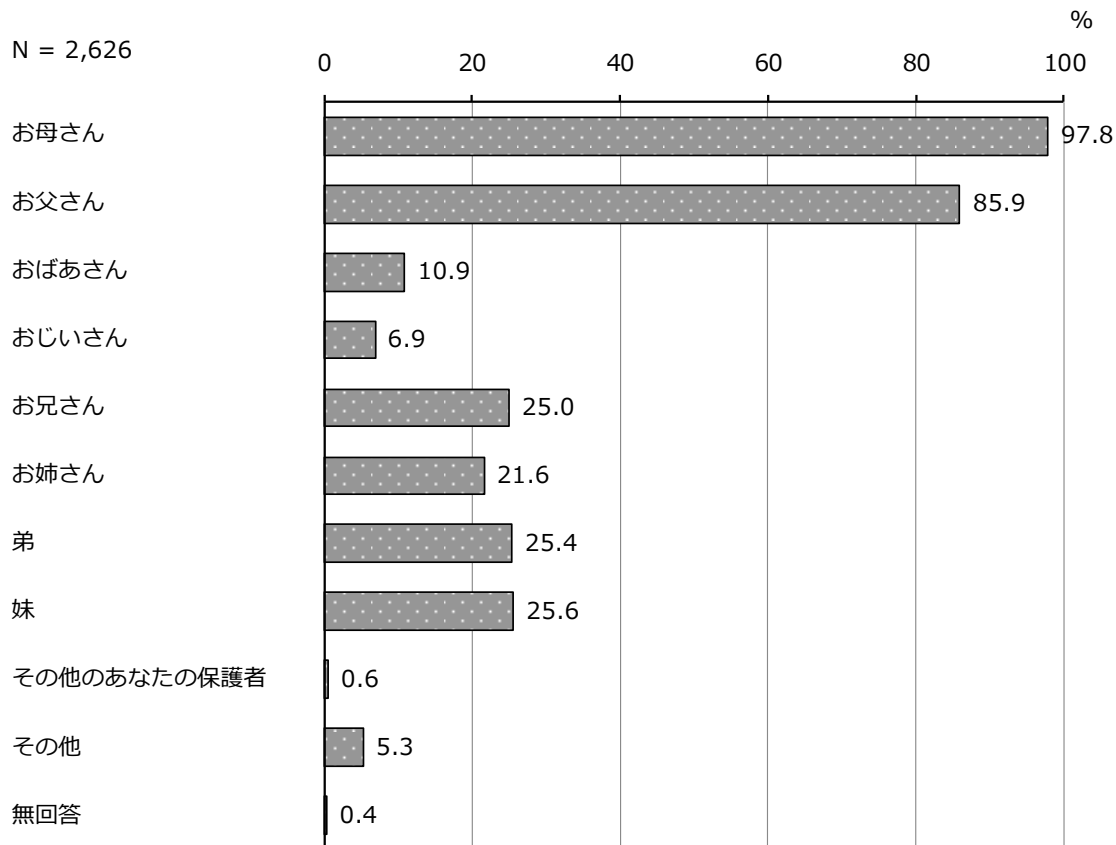
図表 88 性別



③家族構成

同居家族については、「お母さん」が 97.8%と最も高く、次いで「お父さん」が 85.9%、「妹」が 25.6%となっている。

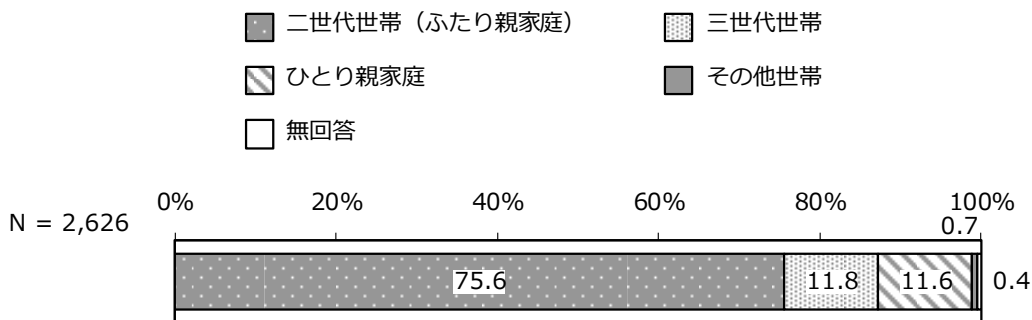
図表 89 同居家族（複数回答）



(補足) その他の自由記述：児童養護施設職員、ペット、おじ等

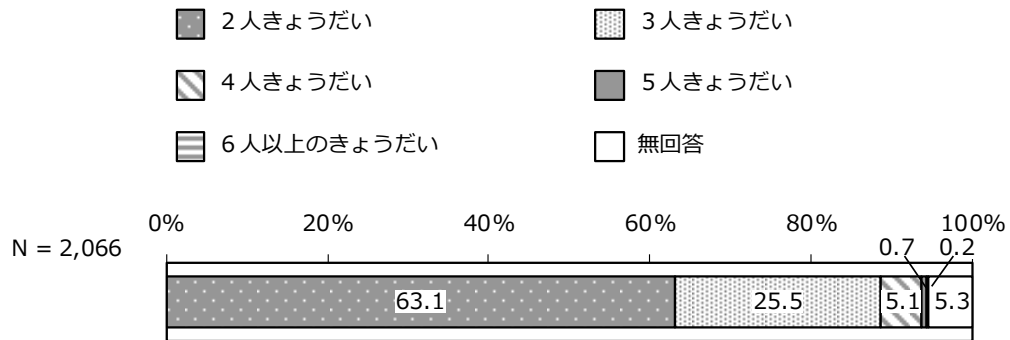
家族構成については、「二世代世帯（ふたり親家庭）」が 75.6%と最も高く、次いで「三世代世帯」が 11.8%、「ひとり親家庭」が 11.6%となっている。

図表 90 家族構成



「お兄さん」、「お姉さん」、「弟」、「妹」と回答した人のきょうだいの人数については、自分を含めて「2人きょうだい」が63.1%と最も高く、次いで「3人きょうだい」が25.5%となっている。

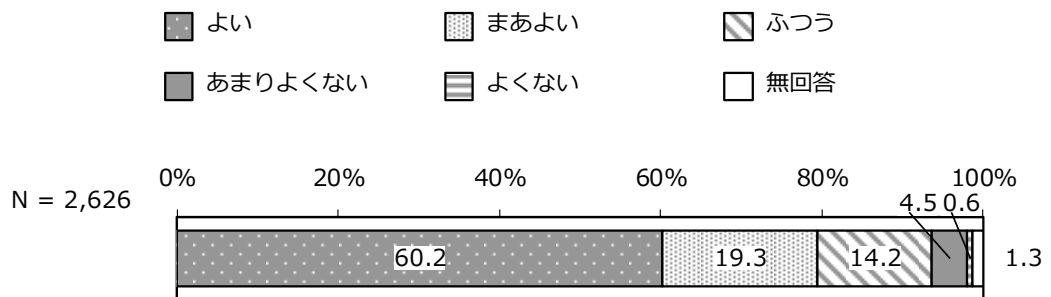
図表 91 きょうだいの人数



④健康状態

健康状態については、「よい」と「まあよい」を合わせた“よい”が79.5%、「ふつう」の割合が14.2%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“よくない”が5.1%となっている。

図表 92 健康状態

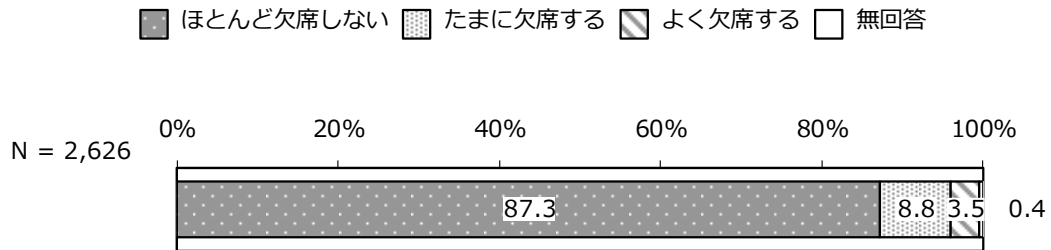


## (2) 普段の生活について

### ① 学校の出欠状況

学校の出欠状況については、「ほとんど欠席しない」が87.3%と最も高く、次いで「たまに欠席する」が8.8%となっている。

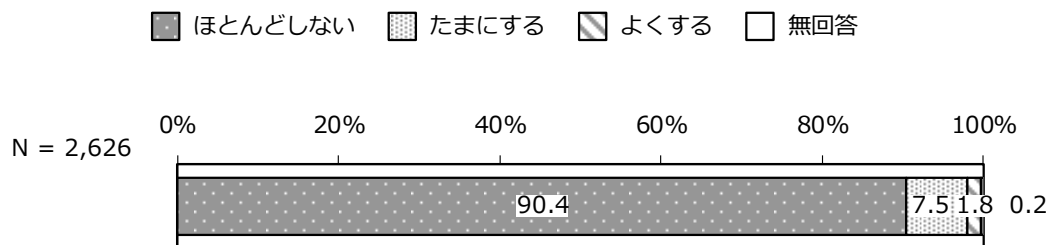
図表 93 学校の出欠状況



### ② 学校の遅刻や早退の状況

学校の遅刻や早退の状況については、「ほとんどしない」が90.4%と最も高く、次いで「たまにする」が7.5%となっている。

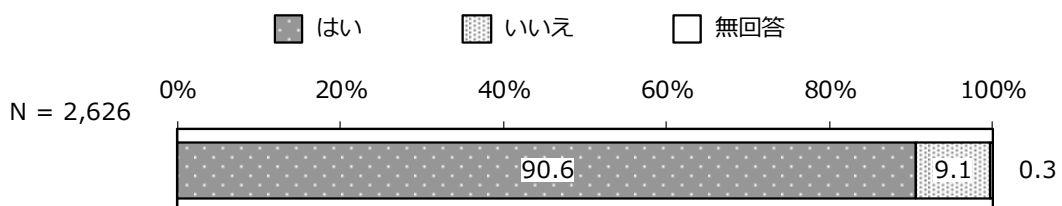
図表 94 学校の遅刻や早退の状況



### ③ 放課後の活動の状況

放課後の活動の状況については、「はい(じゅくや習い事、スポーツクラブなどを行っている)」が90.6%、「いいえ(じゅくや習い事、スポーツクラブなどをしていない)」が9.1%となっている。

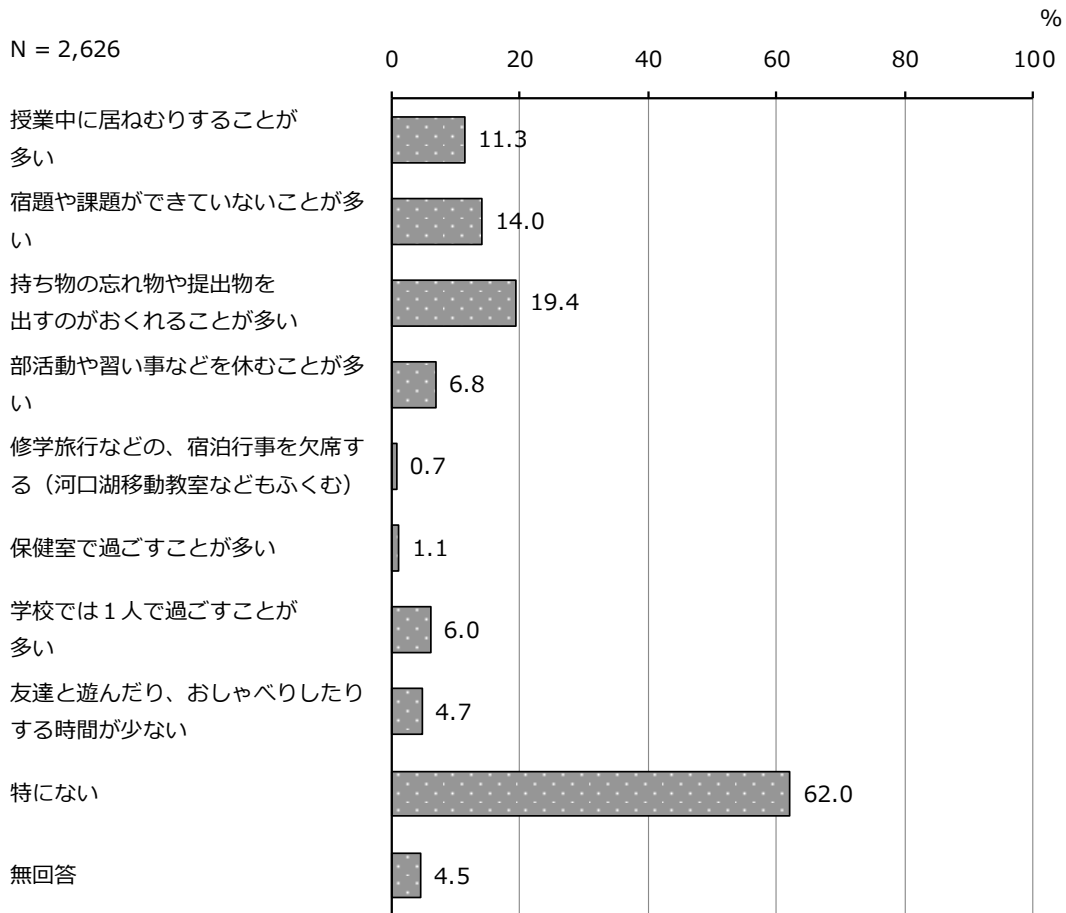
図表 95 放課後の活動の状況



④ 普段の学校生活などであてはまること

普段の学校生活などであてはまることについては、「特にない」が 62.0%と最も高くなっている。それ以外では、「持ち物の忘れ物や提出物を出すのがおくれることが多い」(19.4%)、「宿題や課題ができていないことが多い」(14.0%) が、ほかと比べて高くなっている。

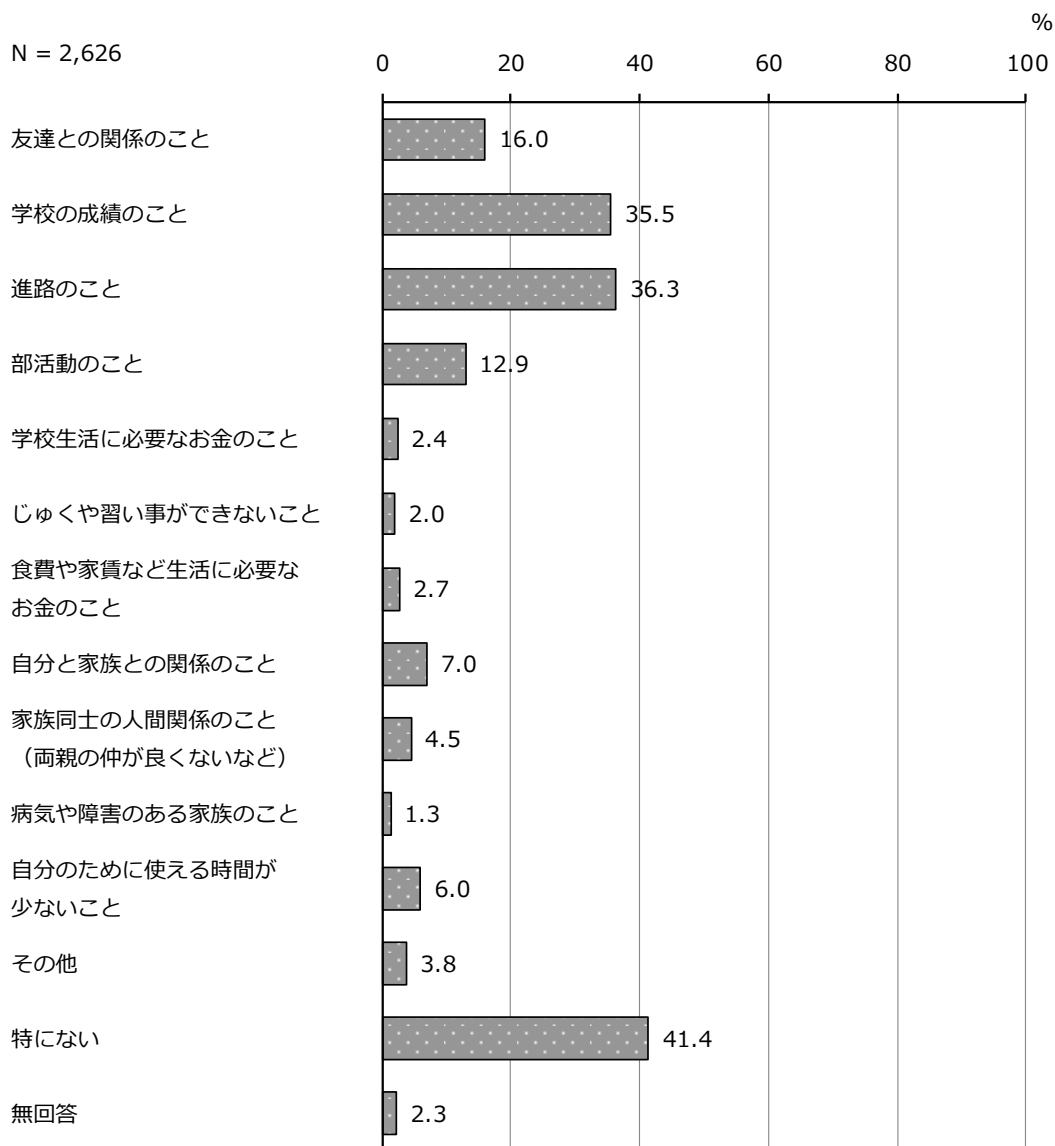
図表 96 普段の学校生活などであてはまること (複数回答)



⑤現在の悩みや困りごと

現在の悩みや困りごとについては、「特にない」が41.4%と最も高く、次いで「進路のこと」が36.3%、「学校の成績のこと」が35.5%となっている。

図表 97 現在の悩みや困りごと（複数回答）

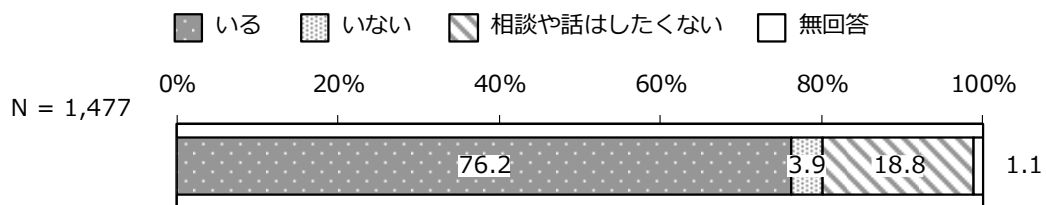


(補足) その他の自由記述：他の人と比較して自分は劣っていると思ってしまうこと、自分の性格のこと、自分の持病、塾の成績が全然伸びない等

⑥悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

何らかの悩みや困りごとがあると回答した人に、相談相手・話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」が76.2%と最も高く、次いで「相談や話はしたくない」が18.8%となっている。

図表 98 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無



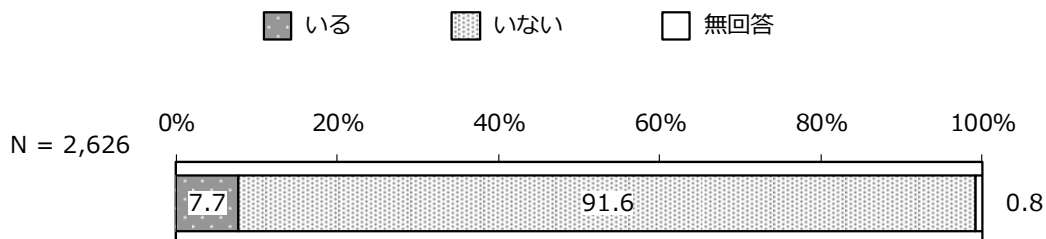


### (3) 家庭や家族のことについて

#### ①世話をしている家族の有無

世話をしている家族の有無については、「いる」が7.7%、「いない」が91.6%となっている。

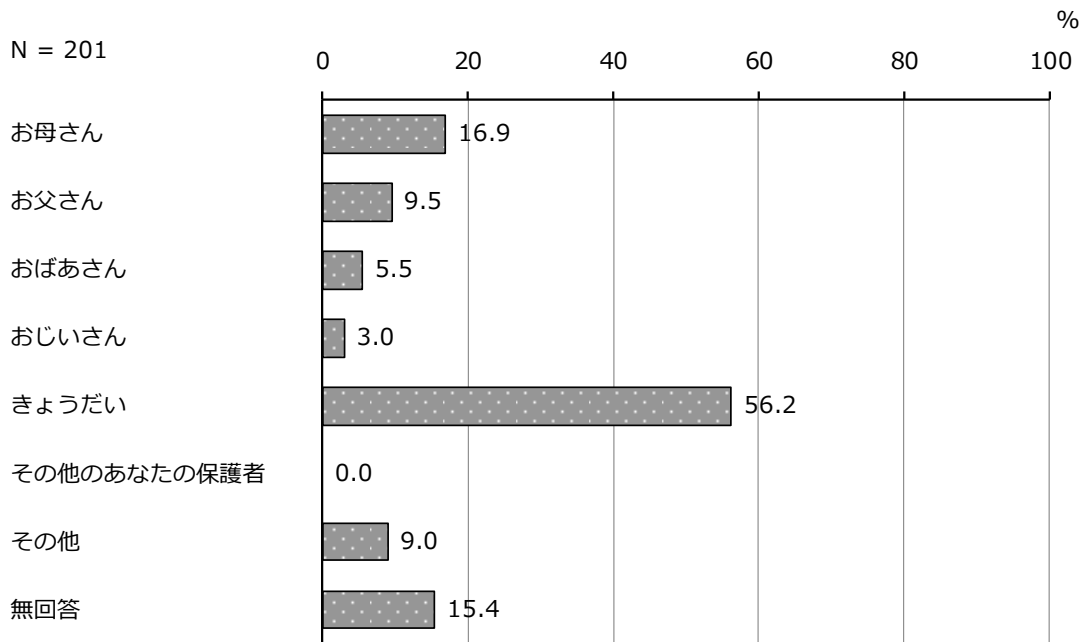
図表 99 世話をしている家族の有無



#### ②世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、「きょうだい」が56.2%と最も高く、次いで「お母さん」が16.9%、「お父さん」が9.5%となっている。

図表 100 世話を必要としている家族（複数回答）



(補足) その他の自由記述：いところ、ペット等

③世話の理由

世話を必要としている家族ごとに、世話の理由について聞いたところ、「お母さん」、「お父さん」では「その他」が最も高くなっている。また、「おばあさん」、「おじいさん」では「高れい（おとしより）のため」が最も高く、「きょうだい」では「若い（小さい）ため」が最も高くなっている。

図表 101 世話の理由（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	高れい（おとしより）のため	若い（小さい）ため	認知しようのため（ものを覚える力、生活できる力が低下し、今までどおり生活できなくなってしまう状態）	障害があるため（身体障害、視覚障害、ちよつかく障害、知的障害など）	（いぞんしょうを除く） こころの病気のため	（いぞんしょうを除く） こころの病気のため	（いぞんしょうを除く） こころの病気のため	（いぞんしょうを除く） こころの病気のため	（いぞんしょうを除く） こころの病気のため	（いぞんしょうを除く） こころの病気のため	（いぞんしょうを除く） こころの病気のため	（いぞんしょうを除く） こころの病気のため
お母さん	34	2.9	-	2.9	2.9	5.9	-	8.8	2.9	26.5	20.6	29.4	
お父さん	19	10.5	-	5.3	5.3	10.5	10.5	-	-	21.1	15.8	36.8	
おばあさん	11	72.7	-	18.2	-	-	-	9.1	-	18.2	-	9.1	
おじいさん	6	83.3	-	16.7	-	-	-	16.7	-	16.7	-	16.7	
きょうだい	113	-	75.2	-	7.1	0.9	0.9	0.9	1.8	8.8	5.3	3.5	
その他のあなたの保護者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	18	-	5.6	-	5.6	-	-	-	-	66.7	11.1	11.1	

（補足）その他の自由記述：母親の仕事が多いため、父子家庭だから、手伝ってと言われるため等

④世話を一緒にしている人

世話を必要としている家族ごとに、世話を一緒にしている人について聞いたところ、全体的に「お母さん」が高くなっている。一方、世話を必要としている家族が「お母さん」では「お父さん」が最も高くなっている。

図表 102 世話を一緒にしている人（複数回答）

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分のみ	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	親せきの人	ふくしサービス（ヘルパーなど）を利用	その他のあなたの保護者	その他	無回答
お母さん	34	20.6	-	32.4	2.9	-	29.4	-	-	-	8.8	20.6
お父さん	19	15.8	52.6	-	-	-	21.1	-	-	-	10.5	21.1
おばあさん	11	-	63.6	63.6	-	9.1	45.5	18.2	27.3	9.1	9.1	9.1
おじいさん	6	-	50.0	33.3	50.0	-	16.7	33.3	33.3	16.7	-	16.7
きょうだい	113	8.8	83.2	63.7	8.0	6.2	36.3	3.5	0.9	0.9	0.9	2.7
その他のあなたの保護者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	18	16.7	38.9	38.9	-	-	33.3	-	-	-	27.8	22.2

(補足) その他の自由記述：おば、友人等

⑤世話の内容

世話を必要としている家族ごとに、世話の内容について聞いたところ、「お母さん」、「お父さん」では「家事」が最も高くなっている。一方、「きょうだい」では「見守り」が最も高く、次いで「着がえや入浴、トイレの手伝いなど」となっている。

図表 103 世話の内容（複数回答）

単位：%

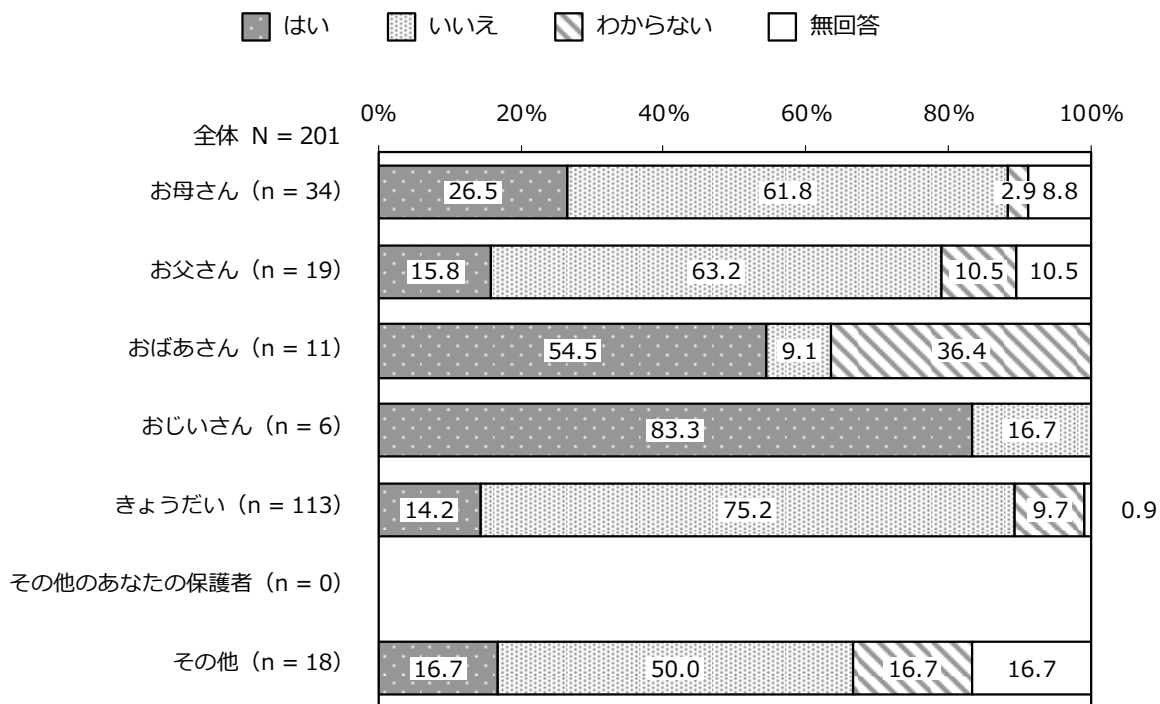
区分	回答者数（件）	家事（食事の準備や後かたづけ、そうじ、洗たく、買い物など）	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	着がえや入浴、トイレの手伝いなど	病院や買い物、散歩にいつしよに行き、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になるなど	見守り（転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど）	通訳（日本語の通訳や手話での通訳など）	家のお金の管理（お金の使い道を考えたり、支払ったりするなど）	薬の管理（薬を飲んだか確認したり、わたしたりするなど）	医りよ的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること）	その他	無回答
お母さん	34	64.7	-	11.8	20.6	20.6	5.9	5.9	11.8	5.9	5.9	2.9	5.9	14.7
お父さん	19	42.1	-	-	5.3	26.3	5.3	5.3	15.8	-	-	5.3	5.3	26.3
おばあさん	11	18.2	-	-	45.5	36.4	45.5	-	-	-	-	-	9.1	9.1
おじいさん	6	16.7	-	-	16.7	50.0	50.0	-	-	33.3	-	-	-	16.7
きょうだい	113	-	29.2	41.6	10.6	28.3	71.7	2.7	-	4.4	-	-	8.8	4.4
その他のあなたの保護者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	18	50.0	-	-	22.2	22.2	27.8	-	5.6	5.6	-	5.6	16.7	22.2

（補足）その他の自由記述：犬の散歩、仕事の手伝い等

⑥世話を必要としている家族の医療機関の利用の有無

世話を必要としている家族の医療機関の利用の有無については、「お母さん」、「お父さん」、「きょうだい」では「いいえ（利用していない）」が最も高く、「おばあさん」、「おじいさん」では「はい（利用している）」が最も高くなっている。

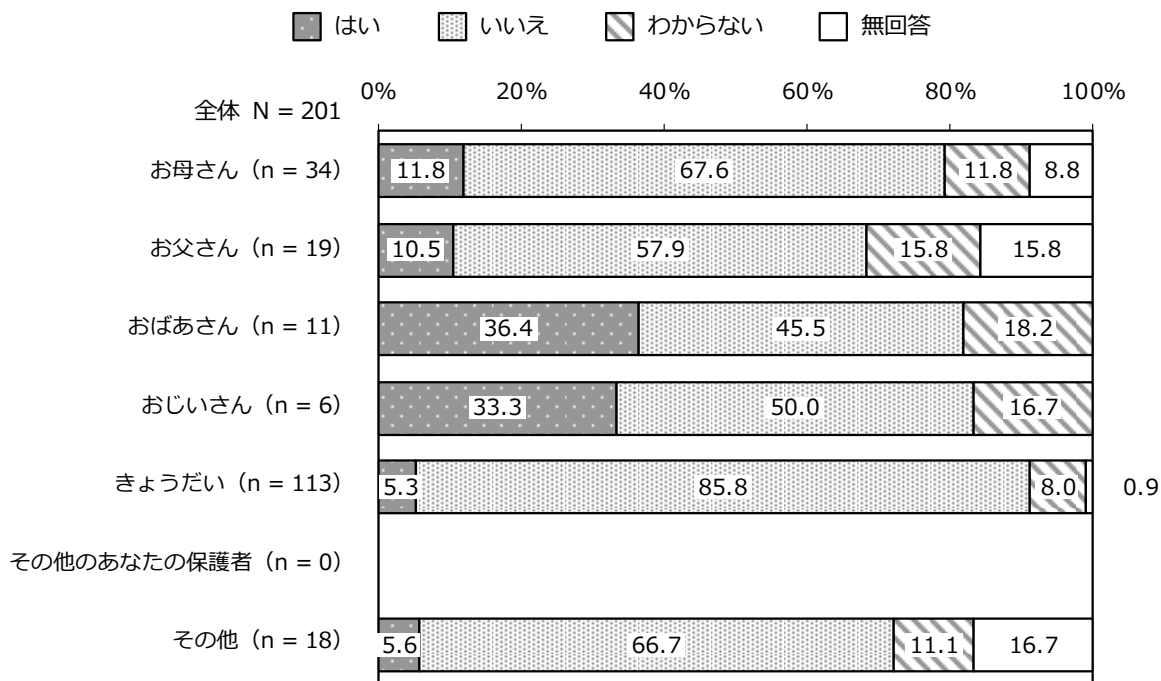
図表 104 世話を必要としている家族の医療機関の利用の有無



⑦世話を必要としている家族の福祉サービスの利用の有無

世話を必要としている家族の福祉サービスの利用の有無については、全体的に「いいえ（利用していない）」が最も高くなっている。

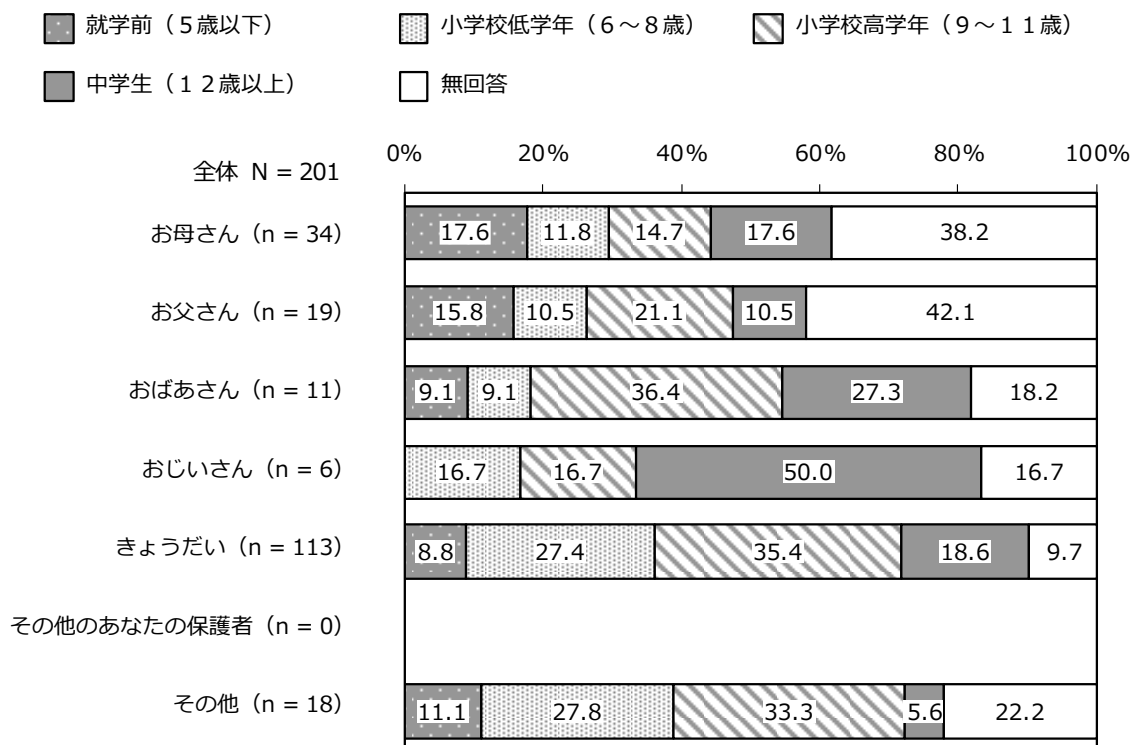
図表 105 世話を必要としている家族の福祉サービスの利用の有無



⑧世話を始めた年齢

世話を必要としている家族ごとに、世話を始めた年齢について聞いたところ、「お父さん」、「おばあさん」、「きょうだい」で「小学校高学年（9～11歳）」が最も高くなっている。

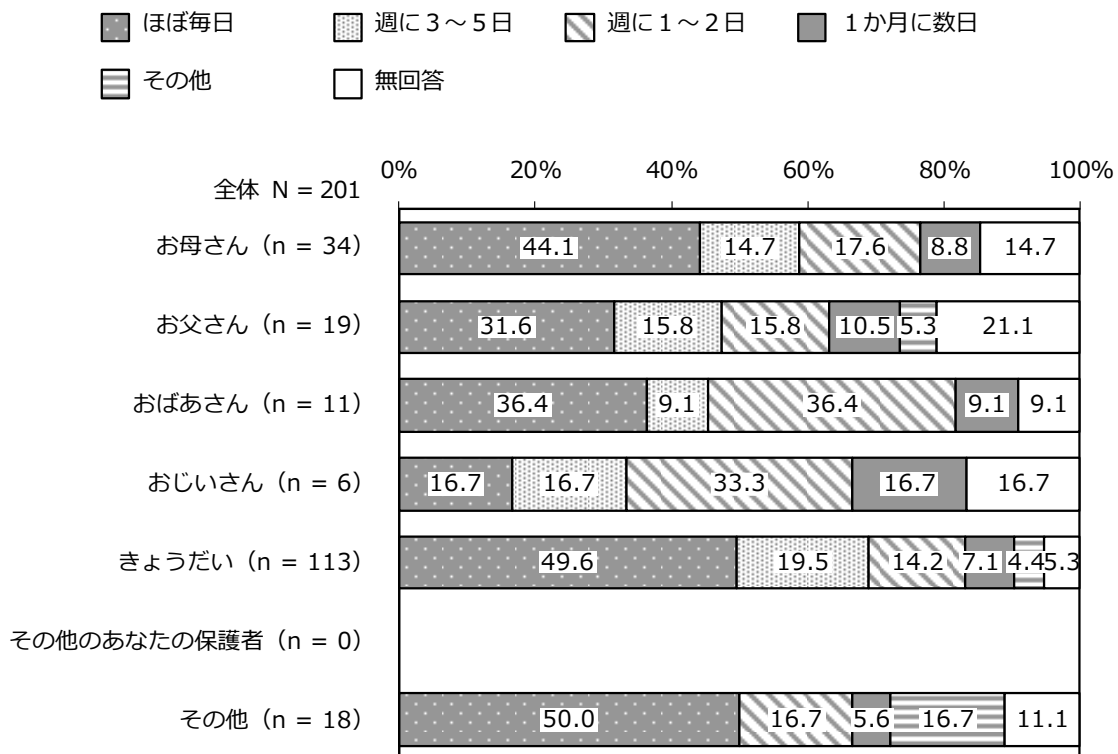
図表 106 世話を始めた年齢



⑨世話をしている頻度

世話を必要としている家族ごとに、世話をしている頻度について聞いたところ、「お母さん」、「お父さん」、「おばあさん」、「きょうだい」で「ほぼ毎日」が最も高くなっている。

図表 107 世話をしている頻度





⑩平日 1日あたりの世話に費やす時間

世話を必要としている家族ごとに、平日 1日あたりの世話に費やす時間について聞いたところ、全体的に「1時間～2時間未満（1時間未満も含む）」が高くなっている。一方、「4時間以上」が「お母さん」で 5.9%、「お父さん」で 15.8%、「きょうだい」で 11.5%となっている。

図表 108 平日 1日あたりの世話に費やす時間

単位：%

区分	回答者数 (件)	0時間 (平日はお世話を していない)	1時間～2時間未満 (1時間未満も含む)	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	無回答	平均時間 (時間)
お母さん	34	5.9	41.2	5.9	2.9	5.9	38.2	2.39時間
お父さん	19	5.3	36.8	5.3	-	15.8	36.8	2.29時間
おばあさん	11	-	54.5	18.2	9.1	-	18.2	1.33時間
おじいさん	6	16.7	33.3	16.7	16.7	-	16.7	1.22時間
きょうだい	113	4.4	59.3	8.0	6.2	11.5	10.6	2.27時間
その他のあなたの保護者	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	18	11.1	27.8	16.7	5.6	16.7	22.2	3.00時間

⑪休日 1日あたりの世話に費やす時間

世話を必要としている家族ごとに、休日 1日あたりの世話に費やす時間について聞いたところ、全体的に「1時間～2時間未満（1時間未満も含む）」が高くなっている。また、「6時間以上」が「おじいさん」で 16.7%、「きょうだい」で 10.6%となっている。

図表 109 休日 1日あたりの世話に費やす時間

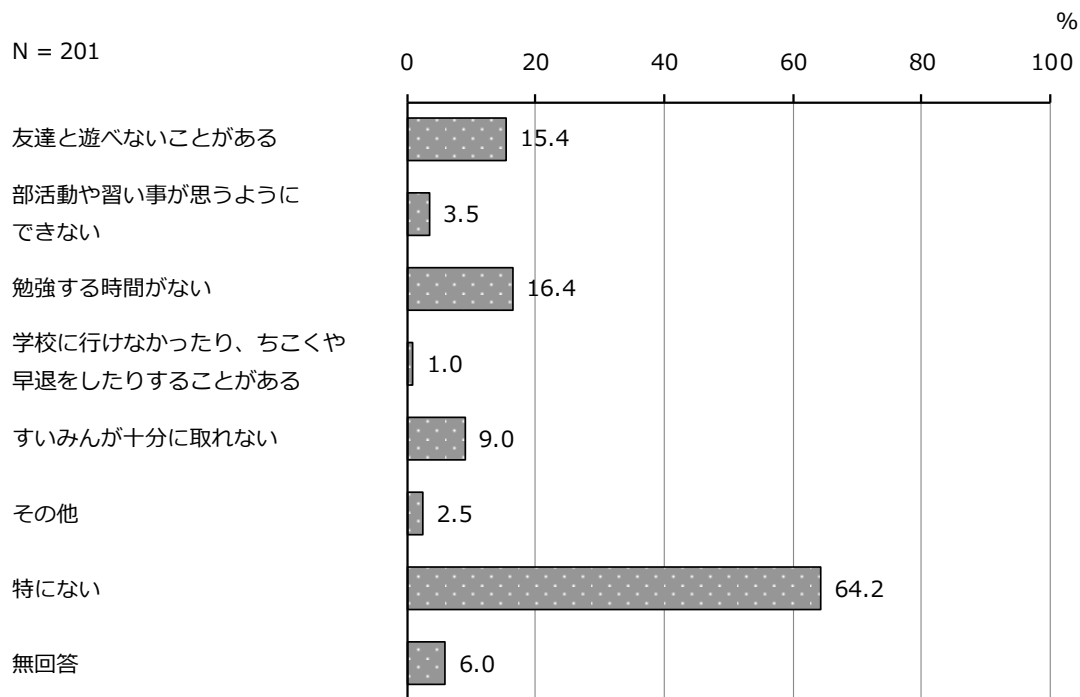
単位：%

区分	回答者数 (件)	0時間 (休日はお世話を していない)	1時間～2時間未満 (1時間未満も含む)	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間～5時間未満	5時間～6時間未満	6時間以上	無回答	平均時間 (時間)
お母さん	34	2.9	41.2	5.9	5.9	-	2.9	5.9	35.3	2.07時間
お父さん	19	-	36.8	10.5	5.3	-	-	5.3	42.1	2.23時間
おばあさん	11	9.1	45.5	18.2	-	-	-	9.1	18.2	1.56時間
おじいさん	6	-	33.3	33.3	-	-	-	16.7	16.7	2.66時間
きょうだい	113	5.3	38.1	16.8	7.1	1.8	3.5	10.6	16.8	4.25時間
その他のあなたの保護者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	18	5.6	27.8	-	16.7	11.1	5.6	5.6	27.8	4.86時間

## ⑫世話をすることによる生活への影響

世話をすることによる生活への影響については、「特にない」が64.2%と最も高くなっている。それ以外では、「勉強する時間がない」(16.4%)、「友達と遊べないことがある」(15.4%)、「すいみんが十分に取れない」(9.0%)が、ほかと比べて高くなっている。

図表 110 世話をすることによる生活への影響（複数回答）

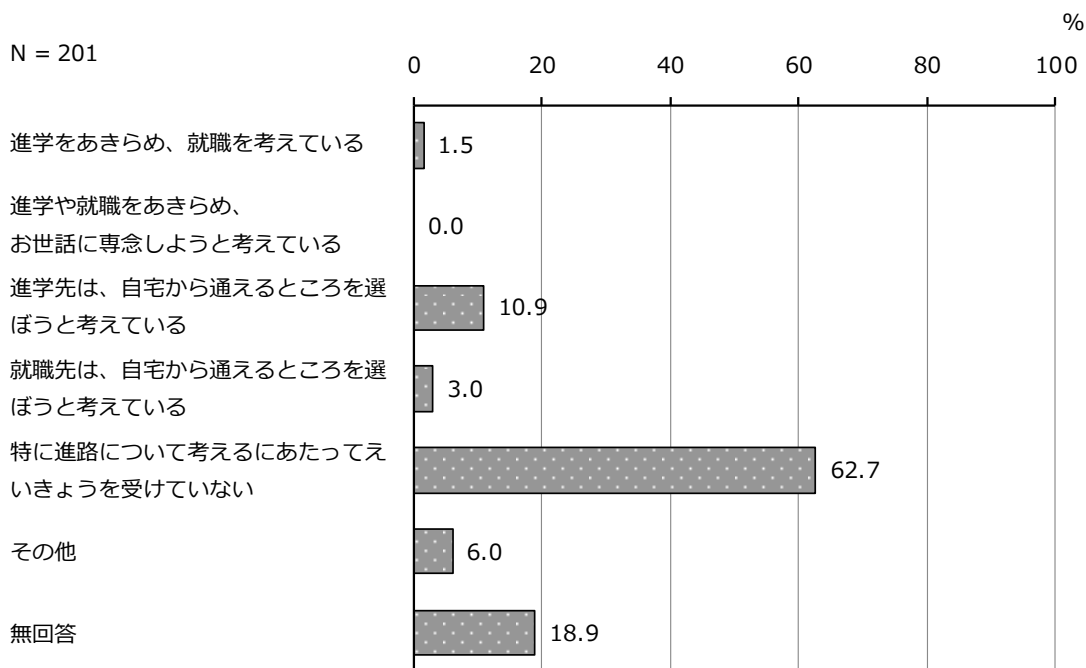


(補足) その他の自由記述：自分の感情をコントロールできない、ケンカする等

⑬進路への影響

進路への影響については、「特に進路について考えるにあたっていきょうを受けていない」が62.7%と最も高くなっている。それ以外では、「進学先は、自宅から通えるところを選ぼうと考えている」(10.9%)が、ほかと比べて高くなっている。

図表 111 進路への影響（複数回答）

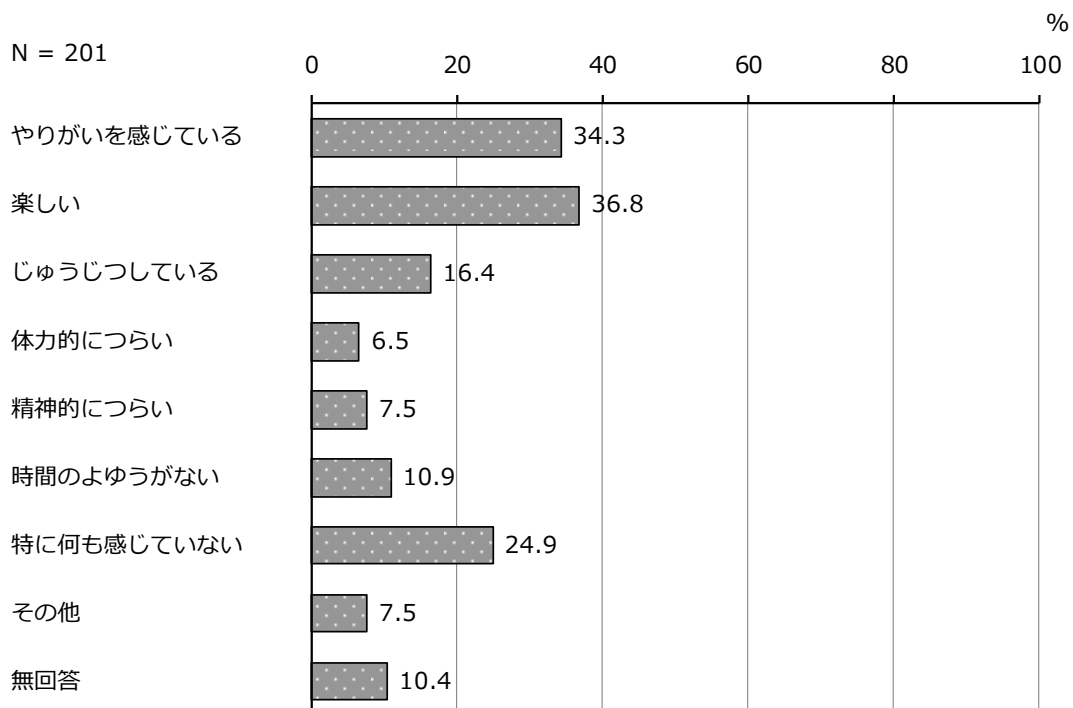


(補足) その他の自由記述：高校大学は公立か都立に行こうと思っている、高校生になったらバイトをして家計を支えたい、母に心配をかけない道を考えている等

⑭世話をすることについて感じていること

世話をすることについて感じていることでは、「楽しい」が36.8%と最も高く、次いで「やりがいを感じている」が34.3%、「特に何も感じていない」が24.9%となっている。

図表 112 世話をすることについて感じていること（複数回答）

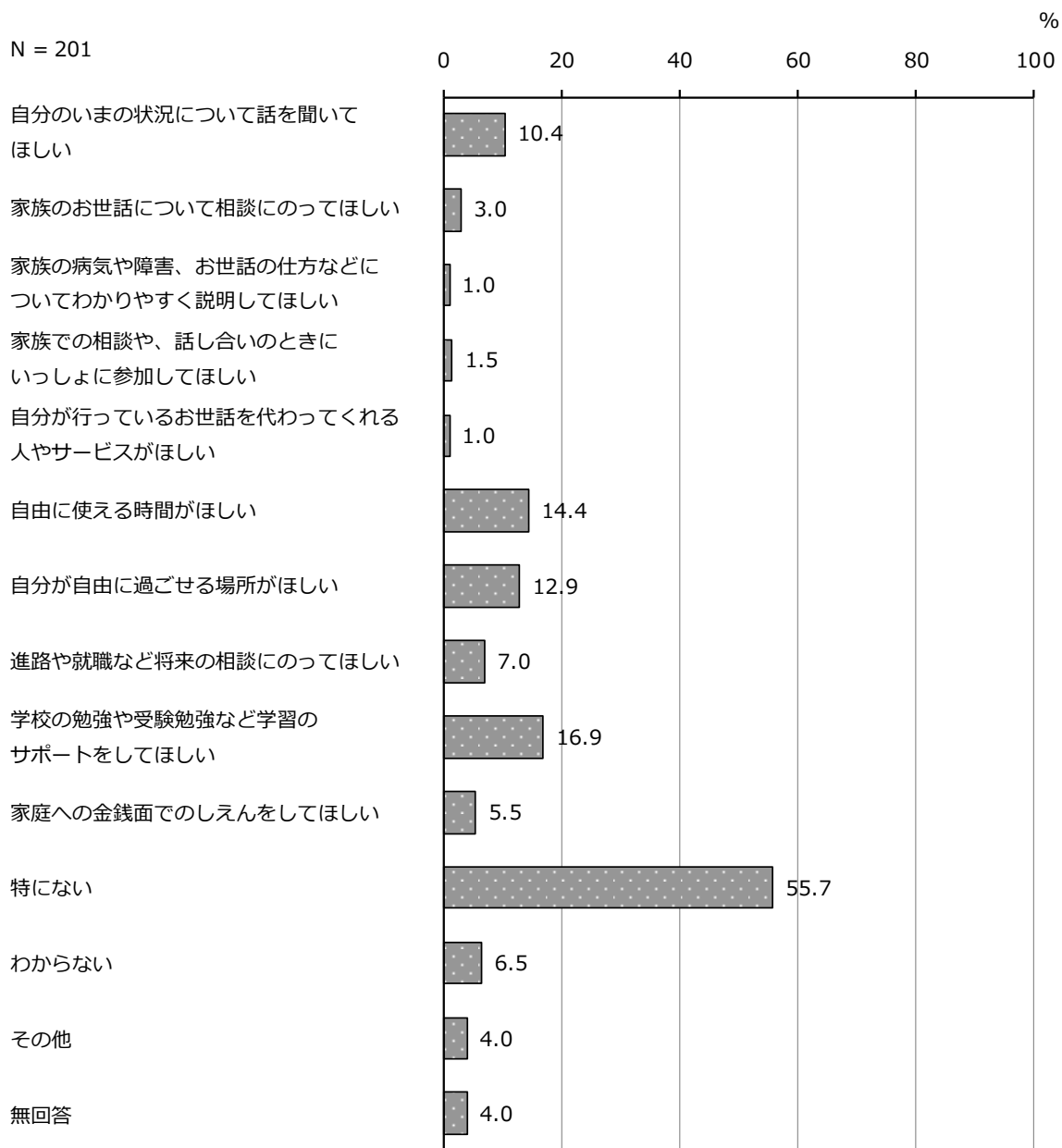


(補足) その他の自由記述：自分のことをする時間がない、妹ができないことをやるのが辛い、どんどんやることを頼まれるので辛い等

⑮学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、「特にない」が 55.7%と最も高くなっている。それ以外では、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」(16.9%)、「自由に使える時間がほしい」(14.4%) が、ほかと比べて高くなっている。

図表 113 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

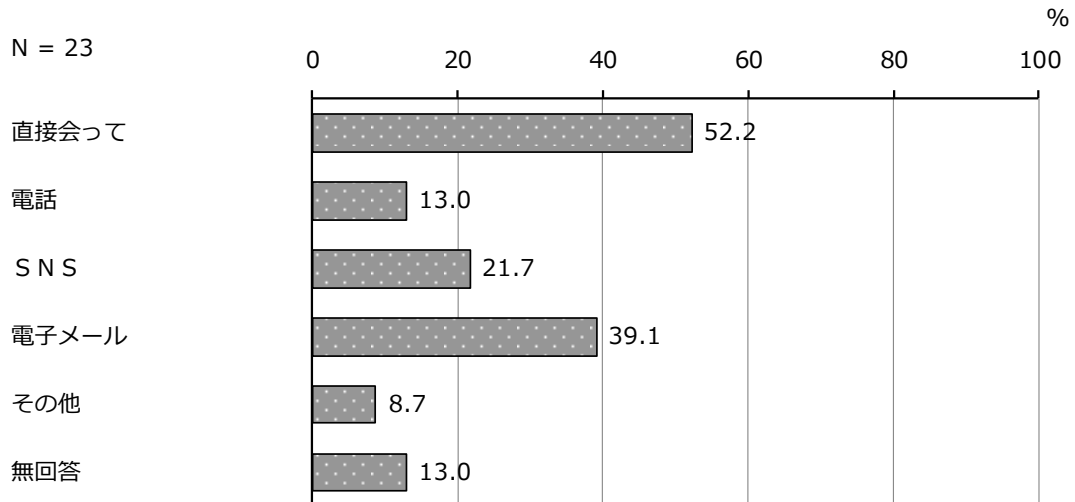


(補足) その他の自由記述：家族との関わりの話を聞いてほしい、お金がほしい等

⑩希望する相談方法

「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に、希望する相談方法について聞いたところ、「直接会って」が52.2%と最も高く、次いで「電子メール」が39.1%、「SNS」が21.7%となっている。

図表 114 希望する相談方法（複数回答）

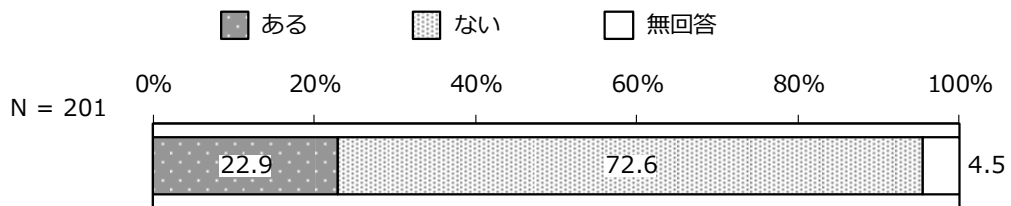


(補足) その他の自由記述：LINE 等

⑪世話について相談した経験の有無

世話について相談した経験の有無は、「ある」が22.9%、「ない」が72.6%となっている。

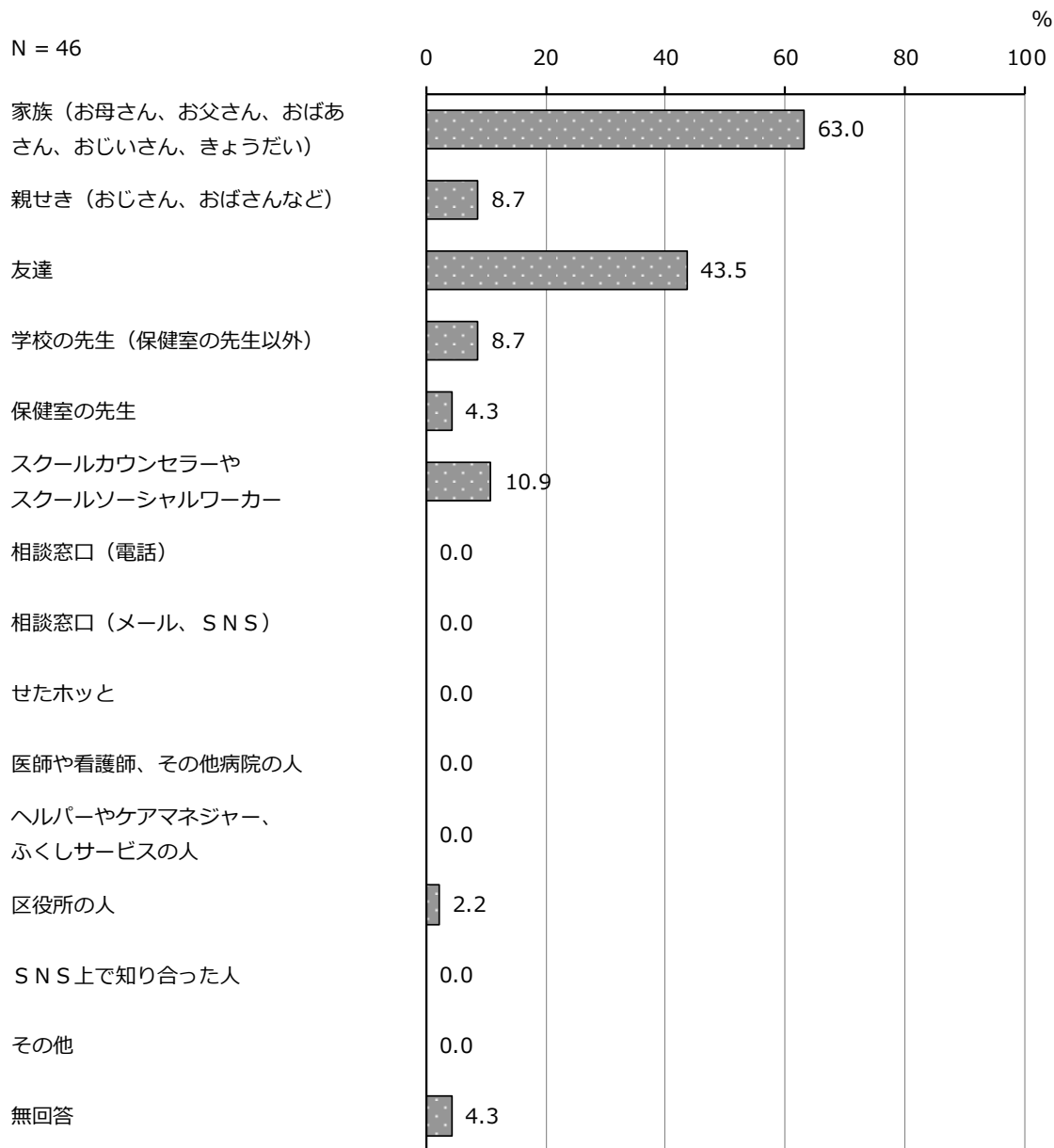
図表 115 世話について相談した経験の有無



⑱世話についての相談相手

世話について相談した経験があると回答した人に、世話についての相談相手を聞いたところ、「家族（お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、きょうだい）」が 63.0%と最も高くなっている。それ以外では、「友達」（43.5%）、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」（10.9%）が、ほかと比べて高くなっている。

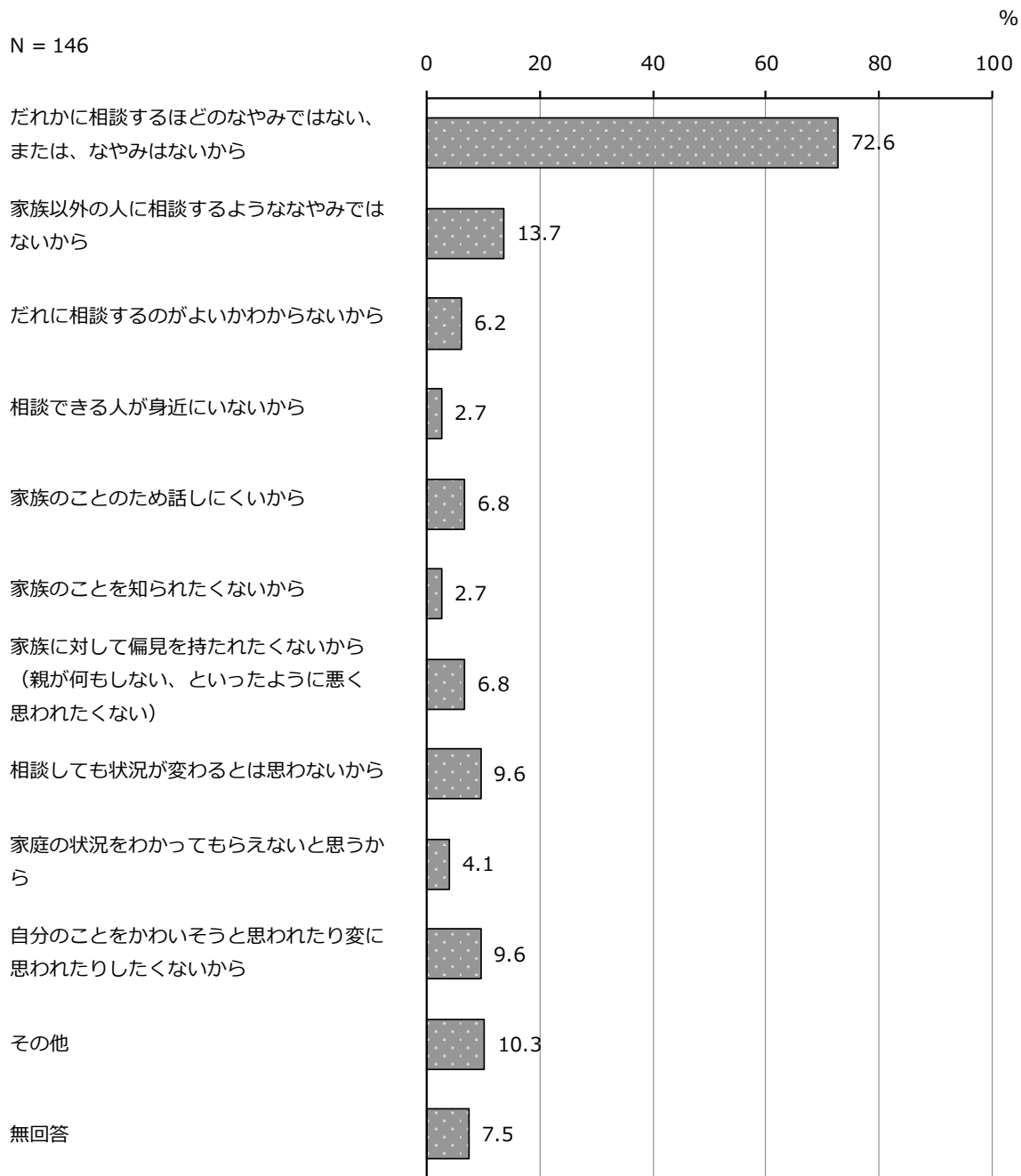
図表 116 世話についての相談相手（複数回答）



⑨世話について相談したことがない理由

世話について相談した経験がないと回答した人に、その理由を聞いたところ、「だれかに相談するほどのなやみではない、または、なやみはないから」が 72.6%と最も高くなっている。それ以外では、「家族以外の人に相談するようになやみではないから」(13.7%)、「相談しても状況が変わるとは思わないから」(9.6%)、「自分のことをかわいそうと思われたり変に思われたりしたくないから」(9.6%) が、ほかと比べて高くなっている。

図表 117 世話について相談したことがない理由（複数回答）



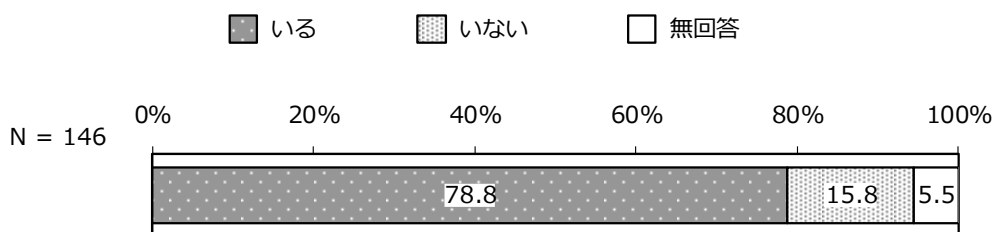
(補足) その他の自由記述：自分で解決するから、赤ちゃんの世話だから大変ではない等



⑳世話の悩みについて聞いてくれる人の有無

世話について相談した経験がないと回答した人に、世話の悩みについて聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」が78.8%、「いない」が15.8%となっている。

図表 118 世話の悩みについて聞いてくれる人の有無

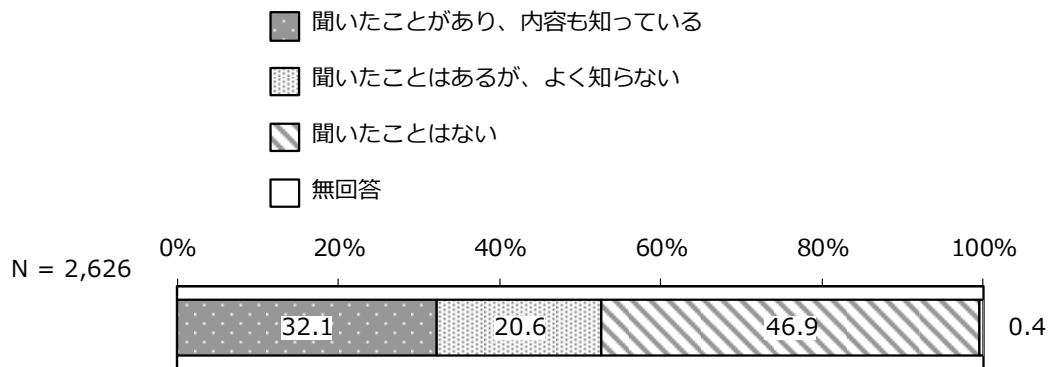


#### (4) ヤングケアラーについて

##### ① 「ヤングケアラー」という言葉の認知度

「ヤングケアラー」という言葉の認知度については、「聞いたことはない」が 46.9%と最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」が 32.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 20.6%となっている。

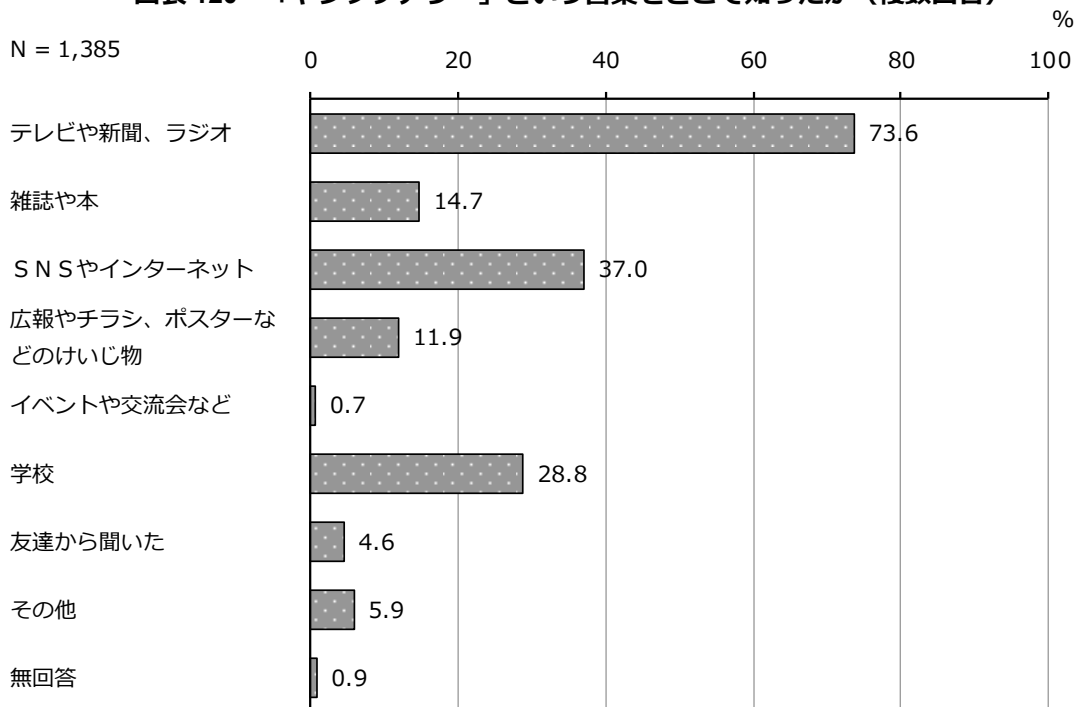
図表 119 「ヤングケアラー」という言葉の認知度



##### ② 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか

「ヤングケアラー」という言葉を「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人に、どこで知ったか聞いたところ、「テレビや新聞、ラジオ」が 73.6%と最も高く、次いで「SNSやインターネット」が 37.0%、「学校」が 28.8%となっている。

図表 120 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか（複数回答）



(補足) その他の自由記述：YouTube、親から聞いた、広告等

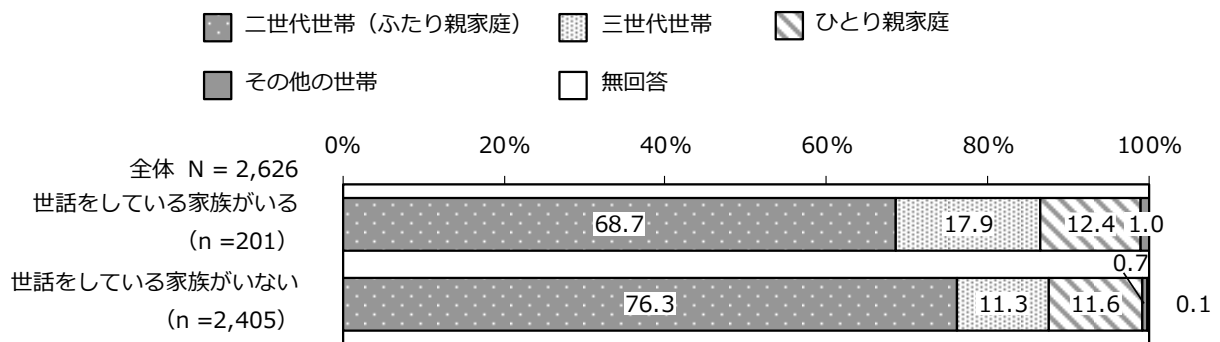
### 3. 追加分析

#### (1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況

##### ① 家族の世話の有無×家族構成

家族構成については、世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べて「三世帯世帯」の割合が高くなっている。一方、世話をしている家族がいない場合、いる場合と比べて「二世帯世帯（ふたり親家庭）」の割合が高くなっている。

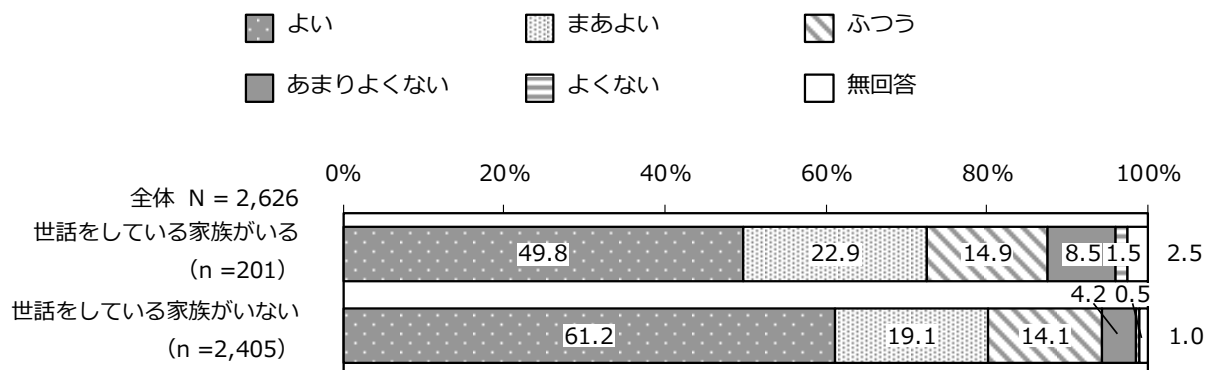
図表 121 家族の世話の有無×家族構成



##### ② 家族の世話の有無×健康状態

健康状態については、世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べて、健康状態が「よい」と「まあよい」を合わせた“よい”の割合が低くなっている。

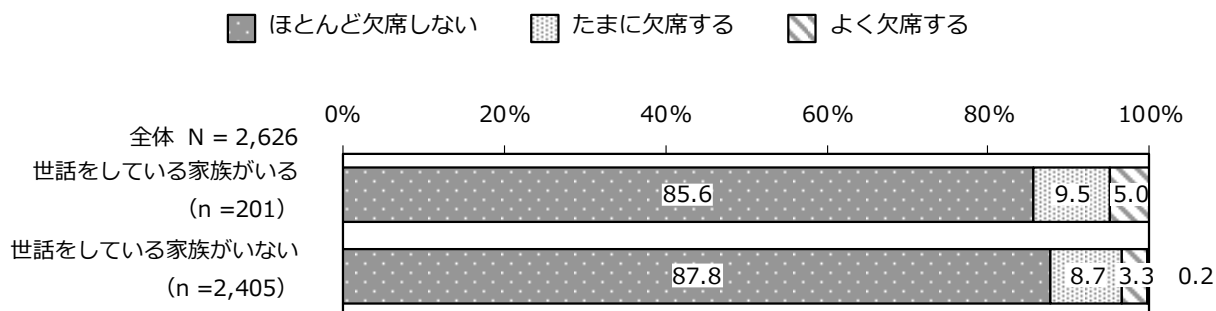
図表 122 家族の世話の有無×健康状態



③家族の世話の有無×学校の出欠状況

学校の出欠状況については、世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べて「ほとんど欠席しない」の割合が低くなっている。

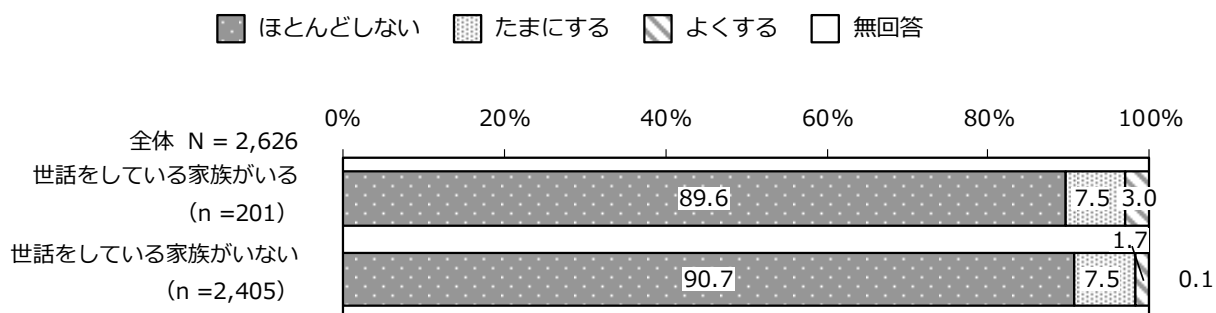
図表 123 家族の世話の有無×学校の出欠状況



④家族の世話の有無×学校の遅刻や早退の状況

学校の遅刻や早退の状況については、世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べて「よくする」の割合がやや高くなっている。

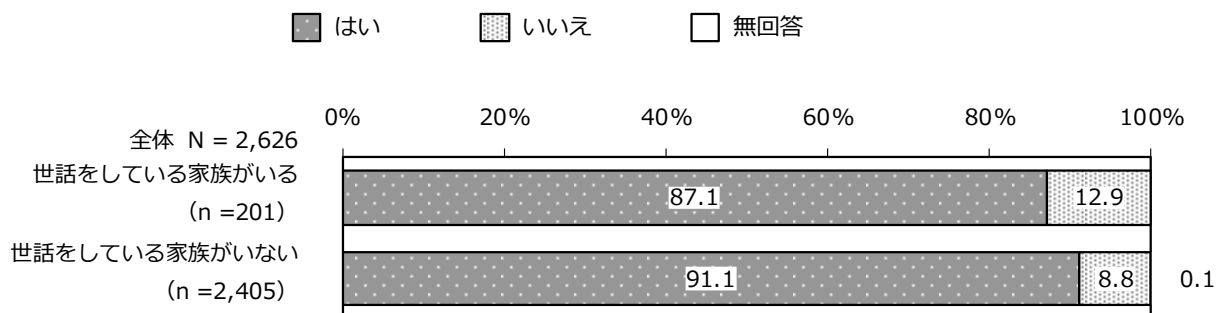
図表 124 家族の世話の有無×学校の遅刻や早退の状況



⑤家族の世話の有無×放課後の活動の状況

放課後の活動の状況については、世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べて「いいえ（じゅくや習い事、スポーツクラブなどをしていない）」の割合が高くなっている。

図表 125 家族の世話の有無×放課後の活動の状況



⑥家族の世話の有無×普段の学校生活などであてはまること

普段の学校生活などであてはまることについては、世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べて「持ち物の忘れ物や提出物を出すのがおくれることが多い」、「部活動や習い事などを休むことが多い」の割合が高くなっている。

図表 126 家族の世話の有無×普段の学校生活などであてはまること（複数回答）

単位：%

区分	回答者数 (件)	授業中に居ねむりすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物や提出物を出すのがおくれることが多い	部活動や習い事などを休むことが多い	修学旅行などの、宿泊行事を欠席する (河口湖移動教室などもふくむ)	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特になし	無回答
世話をしている家族がいる	201	12.9	15.9	25.4	12.9	0.5	2.0	3.5	4.5	53.2	3.5
世話をしている家族がいない	2,405	11.2	13.9	18.9	6.3	0.7	1.0	6.3	4.7	63.0	4.2

⑦家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと

現在の悩みや困りごとについては、世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べて全体的に回答割合が高く、特に「学校の成績のこと」、「進路のこと」、「部活動のこと」、「学校生活に必要なお金のこと」の割合が高くなっている。一方、世話をしている家族がいない場合、「特にない」の割合が高くなっている。

図表 127 家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと（複数回答）

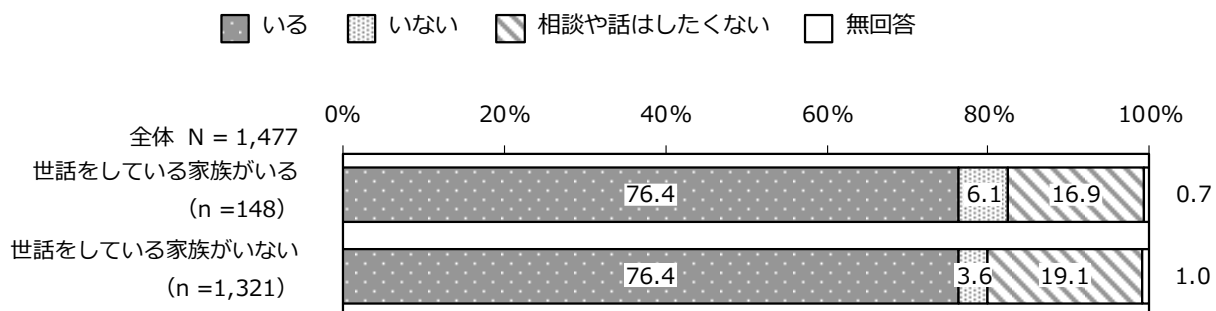
単位：%

区分	回答者数(件)	友達との関係のこと	学校の成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学校生活に必要なお金のこと	じゅくや習い事ができないこと	食費や家賃など生活に必要なお金のこと	自分と家族との関係のこと	家族同士の人間関係のこと (両親の仲が良くないなど)	病気や障害のある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特にない	無回答
世話をしている家族がいる	201	22.9	50.2	46.8	23.4	8.5	5.5	6.5	12.9	6.0	6.0	9.5	8.5	23.4	3.0
世話をしている家族がいない	2,405	15.4	34.4	35.6	12.1	2.0	1.7	2.4	6.5	4.4	0.9	5.7	3.5	43.1	2.0

⑧ 家族の世話の有無×悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無については、世話をしている家族がいる場合、いない場合と比べて「(相談相手が) いない」の割合が高く、「相談や話はしたくない」の割合は低くなっている。

図表 128 家族の世話の有無×悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無



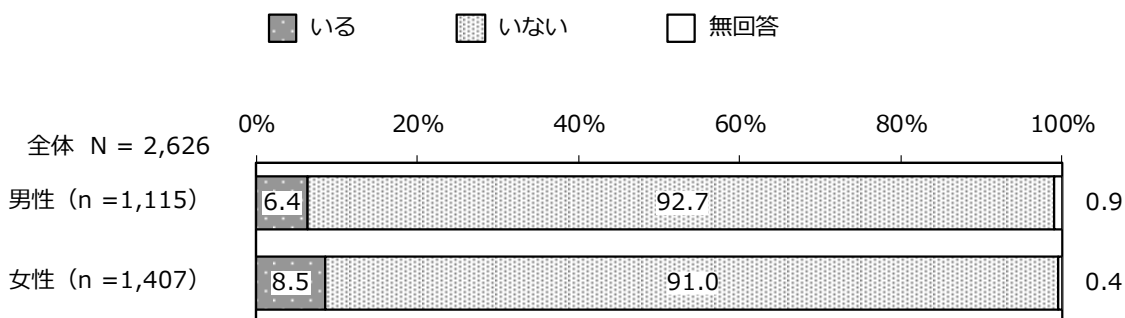
(2) 性別による世話の状況の違い

※性別について、「その他」、「答えない」、「無回答」という回答は、サンプル数が少ないためクロス集計では除外する。

①性別×家族の世話の有無

家族の世話の有無については、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「いる」の割合が高くなっている。

図表 129 性別×家族の世話の有無



②性別×世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「お母さん」、「きょうだい」の割合が高くなっている。一方、男性の場合、「お父さん」の割合が高くなっている。

図表 130 性別×世話を必要としている家族（複数回答）

単位：%

区分	回答者数 (件)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	保護者 その他のあなたの	その他	無回答
男性	71	14.1	11.3	4.2	2.8	46.5	-	15.5	22.5
女性	120	18.3	8.3	6.7	3.3	62.5	-	4.2	10.8



③性別×世話の内容

世話の内容については、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え」、「着がえや入浴、トイレの手伝いなど」、「困りごとを聞く、話し相手になる」、「見守り」の割合が高くなっている。

図表 131 性別×世話の内容（複数回答）

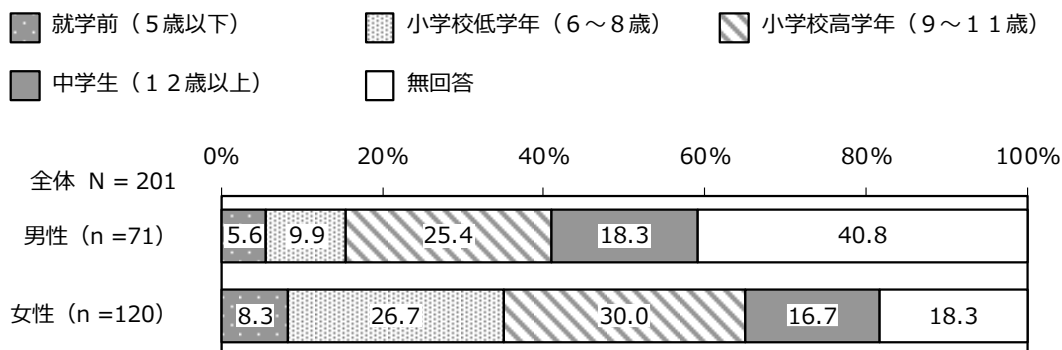
単位：%

区分	回答者数（件）	洗たく、買い物など）	家事（食事の準備や後かたづけ、そうじ、送り迎え	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	着がえや入浴、トイレの手伝いなど	病院や買い物、散歩にいつしよに行き、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になるなど	見守り（転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど）	通訳（日本語の通訳や手話での通訳など）	家のお金の管理（お金の使い道を考えたり、支払ったりするなど）	薬の管理（薬を飲んだか確認したり、わたしたりするなど）	医りよ的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること）	その他	無回答
男性	71	15.5	8.5	18.3	15.5	18.3	29.6	2.8	1.4	1.4	-	1.4	7.0	32.4	
女性	120	19.2	20.0	27.5	13.3	27.5	57.5	1.7	2.5	6.7	0.8	0.8	6.7	14.2	

④性別×世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「小学校低学年（6～8歳）」の割合が高くなっている。

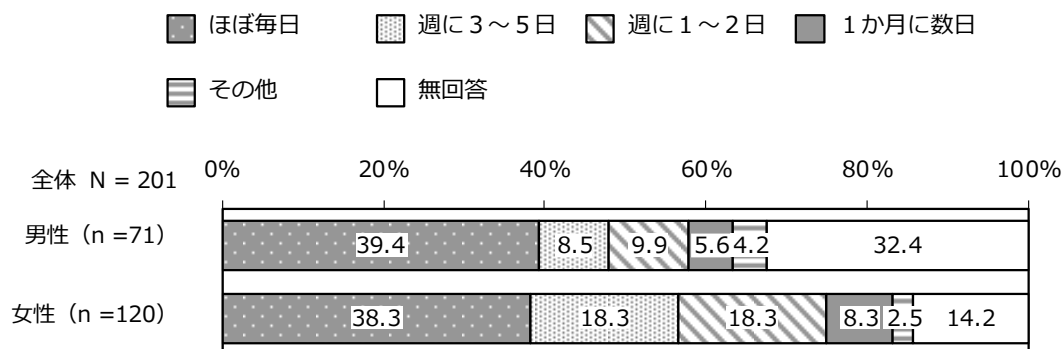
図表 132 性別×世話を始めた年齢



⑤性別×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「週に3～5日」、「週に1～2日」の割合が高くなっている。

図表 133 性別×世話をしている頻度



⑥性別×平日1日あたりの世話に費やす時間

平日1日あたりの世話に費やす時間については、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「1時間～2時間未満（1時間未満も含む）」の割合が高くなっている。

※世話を必要としている家族が複数人いる場合、それぞれの世話に費やす時間を合算して集計する。

図表 134 性別×平日1日あたりの世話に費やす時間

単位：%

区分	回答者数(件)	0時間(平日はお世話をしていない)	1時間～2時間未満(1時間未満も含む)	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	無回答
男性	71	7.0	32.4	4.2	7.0	12.7	36.6
女性	120	4.2	49.2	10.8	6.7	7.5	21.7

⑦性別×休日 1日あたりの世話に費やす時間

休日 1日あたりの世話に費やす時間については、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「1時間～2時間未満（1時間未満も含む）」の割合が高くなっている。

※世話を必要としている家族が複数人いる場合、それぞれの世話に費やす時間を合算して集計する。

図表 135 性別×休日 1日あたりの世話に費やす時間

単位：%

区分	回答者数 (件)	0時間 (休日はお世話を していない)	1時間～2時間未満 (1時間未満も含む)	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間～5時間未満	5時間～6時間未満	6時間以上	無回答
男性	71	4.2	23.9	9.9	5.6	1.4	1.4	14.1	39.4
女性	120	5.0	35.8	14.2	6.7	3.3	2.5	10.8	21.7

⑧性別×世話をすることによる生活への影響

世話をすることによる生活への影響については、世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「友達と遊べないことがある」、「すいみんが十分に取れない」の割合が高くなっている。

図表 136 性別×世話をすることによる生活への影響（複数回答）

単位：%

区分	回答者数 (件)	友達と遊べないことがある	部活動や習い事が 思うようにできない	勉強する時間がない	学校に行けなかったり、 ちこくや早退をしたり、 することがある	すいみんが十分に 取れない	その他	特にない	無回答
男性	71	18.3	4.2	15.5	—	11.3	4.2	56.3	8.5
女性	120	14.2	3.3	15.8	1.7	7.5	0.8	69.2	5.0

⑨性別×世話をすることについて感じていること

世話をすることについて感じていることでは、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「やりがいを感じている」、「じゅうじつしている」の割合が高くなっている。

図表 137 性別×世話をすることについて感じていること（複数回答）

単位：％

区分	回答者数 (件)	やりがいを感じている	楽しい	じゅうじつしている	体力的につらい	精神的につらい	時間のよゆうがない	特に何も感じていない	その他	無回答
男性	71	31.0	38.0	14.1	7.0	5.6	8.5	22.5	7.0	15.5
女性	120	36.7	37.5	18.3	5.8	6.7	10.8	26.7	7.5	7.5

⑩性別×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて全体的に回答割合が高く、特に「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」、「自分が自由に過ごせる場所がほしい」、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」の割合が高くなっている。

図表 138 性別×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

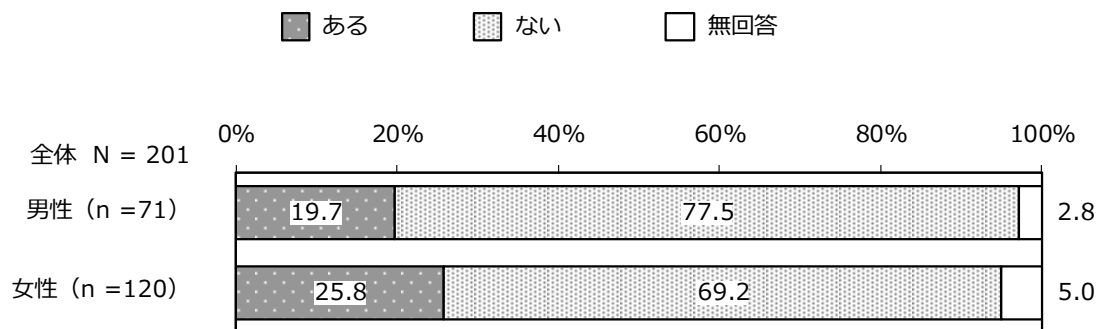
単位：%

区分	回答者数（件）	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、お世話の仕方などについてわかりやすく説明してほしい	家族での相談や、話し合いのときにいつしよに参加してほしい	自分が行っているお世話を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	自分が自由に過ごせる場所がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面でのしえんをしてほしい	特にない	わからない	その他	無回答
男性	71	5.6	-	-	-	2.8	12.7	9.9	5.6	12.7	4.2	57.7	7.0	2.8	7.0
女性	120	13.3	5.0	1.7	2.5	-	15.0	14.2	7.5	20.0	6.7	55.0	5.8	3.3	2.5

⑪性別×世話について相談した経験の有無

世話について相談した経験の有無では、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「(相談経験がある)」の割合が高くなっている。

図表 139 性別×世話について相談した経験の有無



⑫性別×世話についての相談相手

世話についての相談相手では、世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「家族（お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、きょうだい）」、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」の割合が高くなっている。一方、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「友達」、「学校の先生（保健室の先生以外）」、「保健室の先生」の割合が高くなっている。

図表 140 性別×世話についての相談相手（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	家族（お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、きょうだい）	親せき（おじいさん、おばあさんなど）	友達	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー	相談窓口（電話）	相談窓口（メール、SNS）	せたホッと	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパーやケアマネジャー、ふくしサービスの人	区役所の人	SNS上で知り合った人	その他	無回答
男性	14	71.4	7.1	28.6	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3
女性	31	61.3	9.7	51.6	12.9	6.5	6.5	-	-	-	-	3.2	-	-	-	-

⑬性別×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由では、世話をしている人が女性の場合、男性と比べて「家族以外の人に相談するようないやみではないから」、「だれに相談するのがよいかわからないから」、「家族のここのため話しにくいから」、「家族に対して偏見を持たれたくないから（親が何もしない、といったように悪く思われたくない）」、「相談しても状況が変わるとは思わないから」の割合が高くなっている。

図表 141 性別×世話について相談したことがない理由（複数回答）

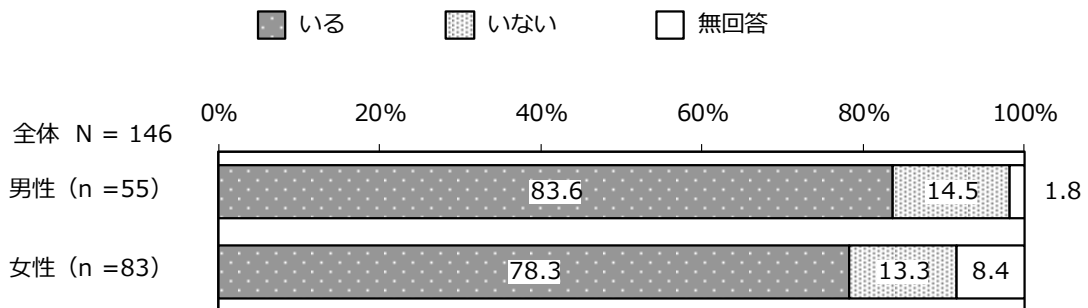
単位：%

区分	回答者数（件）	だれかに相談するほどのいやみではない、または、いやみはないから	家族以外の人に相談するようないやみではないから	だれに相談するのがよいかわからないから	相談できる人が身近にいないから	家族のここのため話しにくいから	家族のことを知られたくないから	家族に対して偏見を持たれたくないから（親が何もしない、といったように悪く思われたくない）	相談しても状況が変わるとは思わないから	家庭の状況をわかってもらえないと思うから	自分のことをかわいそうと思われたり、変に思われたりしたくないから	その他	無回答
男性	55	72.7	7.3	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	3.6	3.6	9.1	9.1	10.9
女性	83	74.7	18.1	8.4	3.6	8.4	2.4	7.2	13.3	3.6	7.2	10.8	4.8

⑭性別×世話の悩みについて聞いてくれる人の有無

世話の悩みについて聞いてくれる人の有無では、世話をしている人が男性の場合、女性と比べて「いる」の割合が高くなっている。

図表 142 性別×世話の悩みについて聞いてくれる人の有無



### (3) 家族構成による世話の状況の違い

※家族構成について、「その他世帯」という回答は、サンプル数が少ないためクロス集計では除外する。

#### ①家族構成×世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、二世帯世帯（ふたり親家庭）の場合、ほかと比べて「お父さん」、「きょうだい」、「その他」の割合が高く、三世帯世帯の場合、ほかと比べて「おばあさん」、「おじいさん」の割合が高くなっている。

図表 143 家族構成×世話を必要としている家族（複数回答）

単位：%

区分	回答者数 (件)	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	その他のあなた の保護者	その他	無回答
二世帯世帯 (ふたり親家庭)	138	19.6	12.3	0.7	-	62.3	-	10.9	13.0
三世帯世帯	36	2.8	2.8	27.8	16.7	36.1	-	5.6	22.2
ひとり親家庭	25	24.0	4.0	-	-	52.0	-	4.0	16.0

#### ②家族構成×世話の内容

世話の内容では、家族構成別でみると、二世帯世帯（ふたり親家庭）の場合、ほかと比べて「きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え」、「着替えや入浴、トイレの手伝いなど」の割合が高く、三世帯世帯の場合、ほかと比べて「困りごとを聞く、話し相手になる」の割合が高くなっている。

図表 144 家族構成×世話の内容（複数回答）

単位：%

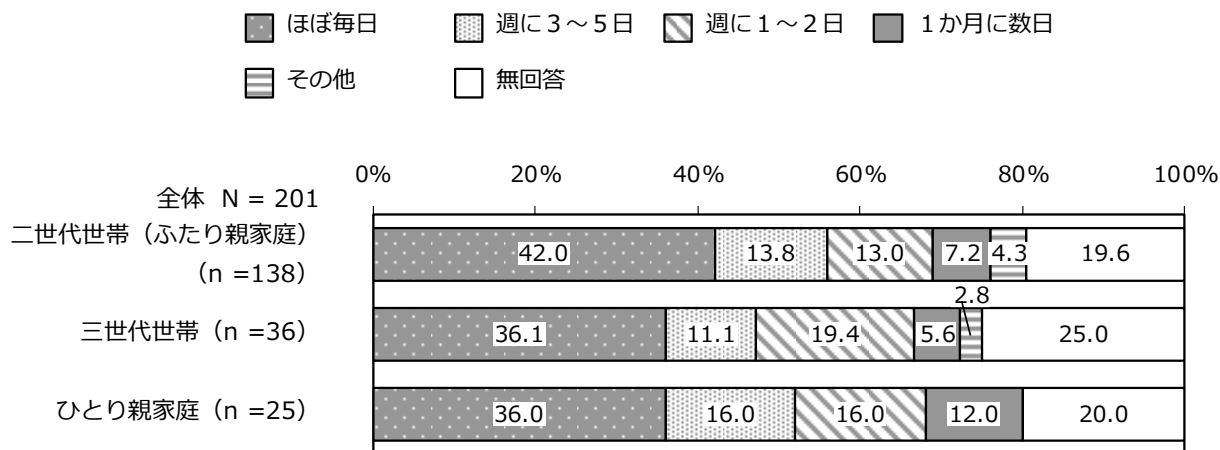
区分	回答者数 (件)	洗たく、買い物など	家事（食事の準備や後かたづけ、そうじ、送り迎え）	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	着がえや入浴、トイレの手伝いなど	病院や買い物、散歩にいつしよに行き、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になるなど	見守り（転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど）	通訳（日本語の通訳や手話での通訳など）	家のお金の管理（お金の使い道を考えてたり、支払ったりするなど）	薬の管理（薬を飲んだか確認したり、わたしたりするなど）	医りよう的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること）	その他	無回答
二世帯世帯 (ふたり親家庭)	138	19.6	18.8	28.3	14.5	23.2	49.3	3.6	4.3	5.8	1.4	2.2	8.0	18.8	
三世帯世帯	36	11.1	11.1	19.4	19.4	30.6	50.0	-	-	5.6	-	-	2.8	27.8	
ひとり親家庭	25	24.0	12.0	20.0	8.0	24.0	36.0	-	-	-	-	-	8.0	20.0	



③家族構成×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、二世世代世帯（ふたり親家庭）の場合、ほかと比べて「ほぼ毎日」の割合が高く、ひとり親家庭の場合、ほかと比べて「1か月に数日」の割合が高くなっている。

図表 145 家族構成×世話をしている頻度



④家族構成×平日1日あたりの世話に費やす時間

平日1日あたりの世話に費やす時間については、ひとり親家庭の場合、ほかと比べて「1時間～2時間未満（1時間未満も含む）」の割合が高くなっている。また、二世世代世帯（ふたり親家庭）の場合、「4時間以上」の割合が高くなっている。

※世話を必要としている家族が複数人いる場合、それぞれの世話に費やす時間を合算して集計する。

図表 146 家族構成×平日1日あたりの世話に費やす時間

単位：%

区分	回答者数 (件)	0時間 (平日はお世話をしていない)	1時間～2時間未満 (1時間未満も含む)	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	無回答
二世世代世帯 (ふたり親家庭)	138	5.1	37.7	9.4	6.5	14.5	26.8
三世世代世帯	36	2.8	44.4	5.6	8.3	5.6	33.3
ひとり親家庭	25	8.0	56.0	4.0	4.0	4.0	24.0

⑤家族構成×休日1日あたりの世話に費やす時間

休日1日あたりの世話に費やす時間については、ひとり親家庭の場合、ほかと比べて「1時間～2時間未満（1時間未満も含む）」の割合が高くなっている。また、二世帯世帯（ふたり親家庭）の場合、「6時間以上」の割合が高くなっている。

※世話を必要としている家族が複数人いる場合、それぞれの世話に費やす時間を合算して集計する。

図表 147 家族構成×休日1日あたりの世話に費やす時間

単位：%

区分	回答者数(件)	0時間(お世話をしていない)	1時間～2時間未満(1時間未満も含む)	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間～5時間未満	5時間～6時間未満	6時間以上	無回答
二世帯世帯(ふたり親家庭)	138	4.3	26.8	13.0	6.5	2.9	2.2	15.9	28.3
三世帯世帯	36	2.8	36.1	8.3	5.6	2.8	-	11.1	33.3
ひとり親家庭	25	8.0	40.0	12.0	4.0	-	4.0	8.0	24.0

⑥家族構成×世話をすることによる生活への影響

世話をすることによる生活への影響については、三世帯世帯の場合、ほかと比べて「勉強する時間がない」、「すいみんが十分に取れない」の割合が高く、ひとり親家庭の場合、ほかと比べて「友達と遊べないことがある」の割合が高くなっている。

図表 148 家族構成×世話をすることによる生活への影響(複数回答)

単位：%

区分	回答者数(件)	友達と遊べないことがある	部活動や習い事が思うようにできない	勉強する時間がない	学校に行けなかったり、ちこくや早退をしたり、することがある	すいみんが十分に取れない	その他	特にない	無回答
二世帯世帯(ふたり親家庭)	138	13.8	3.6	16.7	0.7	6.5	3.6	63.8	6.5
三世帯世帯	36	13.9	2.8	22.2	-	16.7	-	63.9	5.6
ひとり親家庭	25	28.0	4.0	8.0	4.0	12.0	-	64.0	4.0

⑦家族構成×進路への影響

進路への影響については、二世帯世帯（ふたり親家庭）、三世帯世帯の場合、「特に進路について考えるにあたっていきょうを受けていない」の割合が高く、ひとり親家庭の場合、ほかと比べて「就職先は、自宅から通えるところを選ぼうと考えている」の割合が高くなっている。

図表 149 家族構成×進路への影響（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	進学をあきらめ、就職を考えている	進学や就職をあきらめ、お世話に専念しようと考えている	進学先は、自宅から通えるところを選ぼうと考えている	就職先は、自宅から通えるところを選ぼうと考えている	特に進路について考えるにあたっていきょうを受けていない	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	138	1.4	-	8.0	2.2	64.5	7.2	19.6
三世帯世帯	36	-	-	16.7	2.8	61.1	5.6	16.7
ひとり親家庭	25	4.0	-	20.0	8.0	56.0	-	16.0

⑧家族構成×世話をすることについて感じていること

世話をすることについて感じていることでは、二世帯世帯（ふたり親家庭）の場合、ほかと比べて「やりがいを感じている」の割合が高く、三世帯世帯の場合、ほかと比べて「楽しい」の割合が高くなっている。

図表 150 家族構成×世話をすることについて感じていること（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	やりがいを感じている	楽しい	じゅうじゅうしている	体力的につらい	精神的につらい	時間のよゆうがない	特に何も感じていない	その他	無回答
二世帯世帯（ふたり親家庭）	138	37.0	37.7	18.1	6.5	8.7	9.4	23.2	8.7	9.4
三世帯世帯	36	27.8	44.4	11.1	8.3	5.6	13.9	27.8	8.3	11.1
ひとり親家庭	25	28.0	16.0	16.0	4.0	4.0	16.0	32.0	-	16.0

⑨家族構成×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、三世代世帯の場合、ほかと比べて「自由に使える時間がほしい」、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」の割合が高く、ひとり親家庭の場合、ほかと比べて「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「家庭への金銭面でのしえんをしてほしい」の割合が高くなっている。

図表 151 家族構成×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

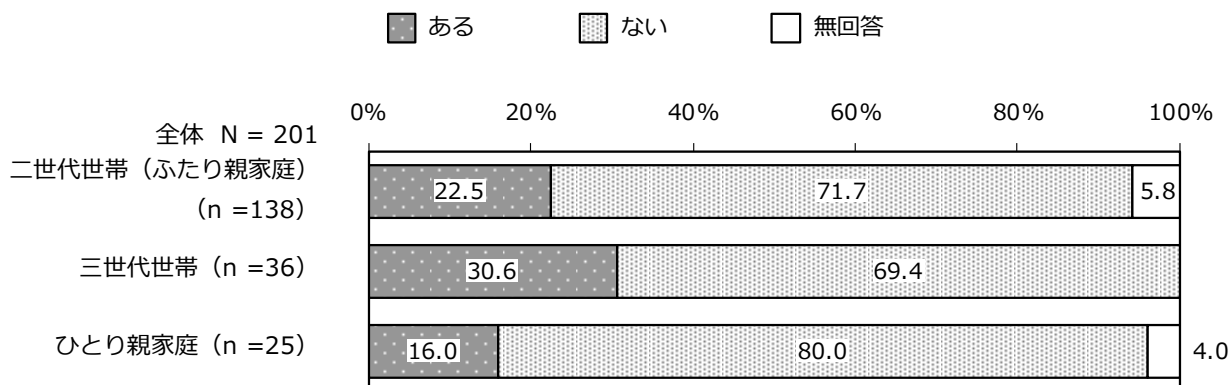
単位：%

区分	回答者数(件)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、お世話の仕方などについてわかりやすく説明してほしい	家族での相談や、話し合いのときにいっしょに参加してほしい	自分が行っているお世話を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	自分が自由に過ごせる場所がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面でのしえんをしてほしい	特にない	わからない	その他	無回答
二世代世帯 (ふたり親家庭)	138	9.4	2.9	0.7	0.7	0.7	11.6	10.9	3.6	14.5	3.6	59.4	5.1	5.8	5.8
三世代世帯	36	5.6	5.6	2.8	5.6	-	25.0	19.4	13.9	25.0	5.6	44.4	11.1	-	-
ひとり親家庭	25	24.0	-	-	-	4.0	16.0	16.0	16.0	20.0	16.0	52.0	4.0	-	-

⑩家族構成×世話について相談した経験の有無

世話について相談した経験の有無では、三世代世帯の場合、ほかと比べて「ある」の割合が高く、ひとり親家庭の場合、ほかと比べて「ない」の割合が高くなっている。

図表 152 家族構成×世話について相談した経験の有無



#### (4) 世話をしている頻度による生活状況等

##### ①世話をしている頻度×平日1日あたりの世話に費やす時間

平日1日あたりの世話に費やす時間については、世話の頻度が週に3～5日の場合、ほかと比べて「1時間～2時間未満（1時間未満も含む）」の割合が高く、ほぼ毎日の場合、ほかと比べて「3時間～4時間未満」、「4時間以上」の割合が高くなっている。

※世話を必要としている家族が複数人いる場合、それぞれの世話に費やす時間を合算して集計する。

図表 153 世話をしている頻度×平日1日あたりの世話に費やす時間

単位：%

区分	回答者数(件)	0時間(平日はお世話をしていない)	1時間～2時間未満(1時間未満も含む)	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	無回答
ほぼ毎日	80	1.3	42.5	10.0	12.5	23.8	10.0
週に3～5日	28	—	75.0	14.3	3.6	—	7.1
週に1～2日	29	10.3	72.4	6.9	3.4	6.9	—
1か月に数日	15	33.3	26.7	6.7	6.7	6.7	20.0
その他	7	14.3	28.6	14.3	—	14.3	28.6

##### ②世話をしている頻度×世話をすることについて感じていること

世話をすることについて感じていることでは、頻度が高くなるにつれ、「体力的につらい」の割合が高くなっている。また、1か月に数日の場合、ほかと比べて「特に何も感じていない」の割合が高くなっている。

図表 154 世話をしている頻度×世話をすることについて感じていること（複数回答）

単位：%

区分	回答者数(件)	やりがいを感じている	楽しい	じゅうじゅうしている	体力的につらい	精神的につらい	時間のよゆうがない	特に何も感じていない	その他	無回答
ほぼ毎日	80	42.5	41.3	25.0	10.0	12.5	17.5	22.5	7.5	—
週に3～5日	28	35.7	28.6	10.7	7.1	3.6	21.4	25.0	14.3	3.6
週に1～2日	29	55.2	65.5	27.6	3.4	—	3.4	17.2	3.4	—
1か月に数日	15	26.7	20.0	—	—	6.7	—	46.7	26.7	—
その他	7	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	42.9	—	—

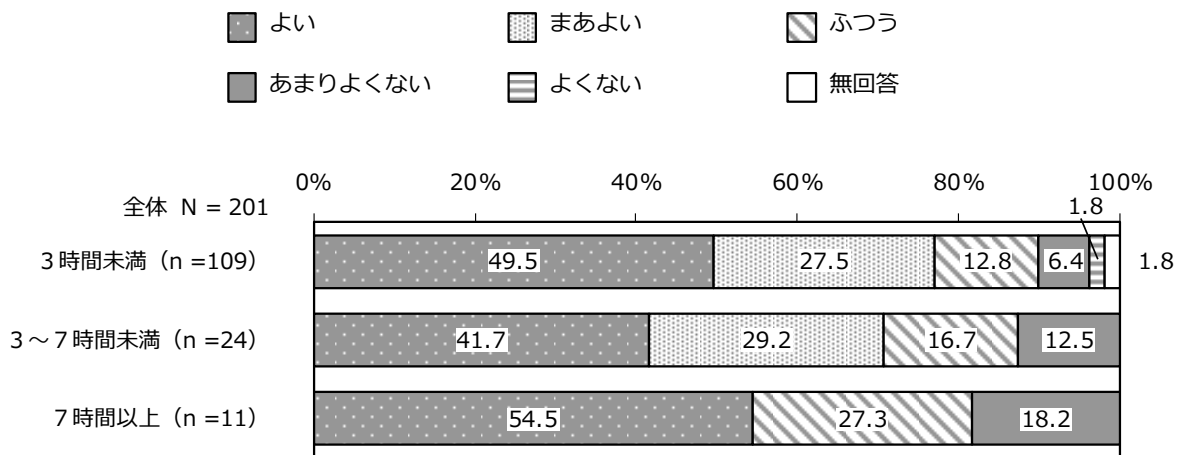
(5) 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等

※世話を必要としている家族が複数人いる場合、それぞれの世話に費やす時間を合算して集計する。

①平日1日あたりの世話に費やす時間×健康状態

健康状態については、世話に費やす時間が3時間未満の場合、ほかと比べて、健康状態が「よい」と「まあよい」を合わせた“よい”の割合が高くなっている。また、世話に費やす時間が長くなるにつれて「あまりよくない」の割合が高くなっている。

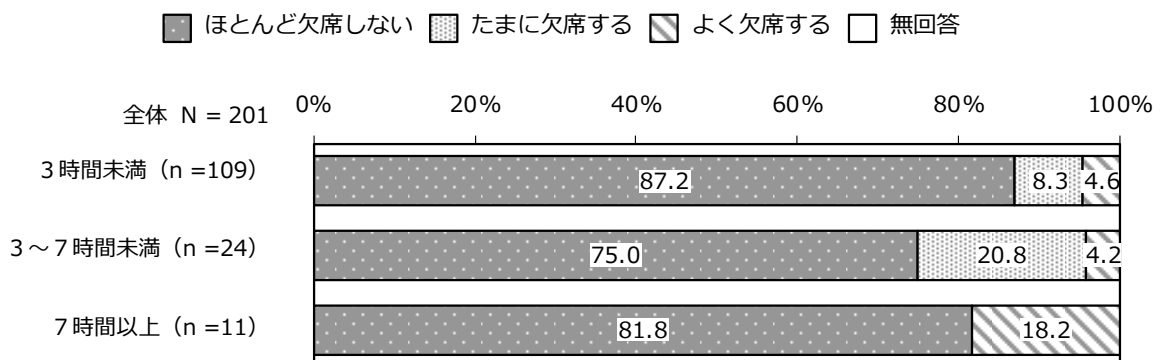
図表 155 平日1日あたりの世話に費やす時間×健康状態



②平日1日あたりの世話に費やす時間×学校の出欠状況

学校の出欠状況については、世話に費やす時間が7時間以上の場合、3時間未満、3～7時間未満の場合と比べて「よく欠席する」の割合が高くなっている。

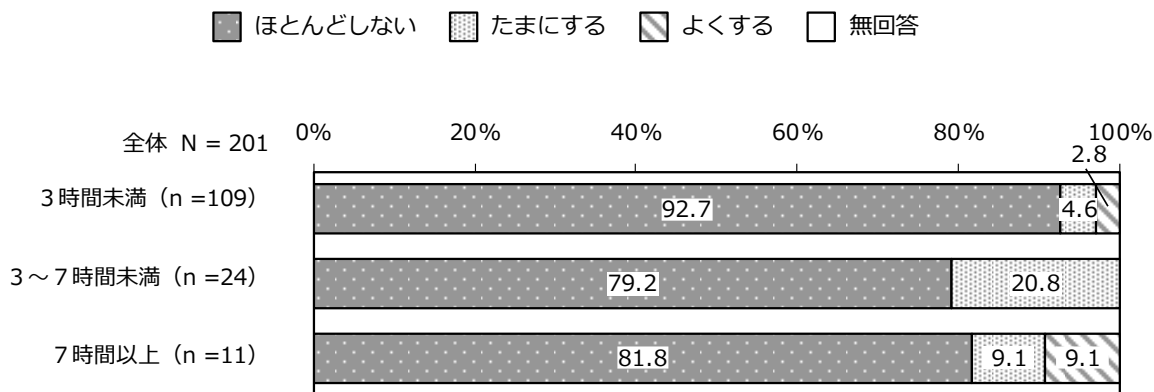
図表 156 平日1日あたりの世話に費やす時間×学校の出欠状況



③平日1日あたりの世話に費やす時間×学校の遅刻や早退の状況

学校の遅刻や早退の状況については、世話に費やす時間が3～7時間未満の場合、ほかと比べて「たまにする」の割合が高くなっている。また、7時間以上の場合、「よくする」の割合が高くなっている。

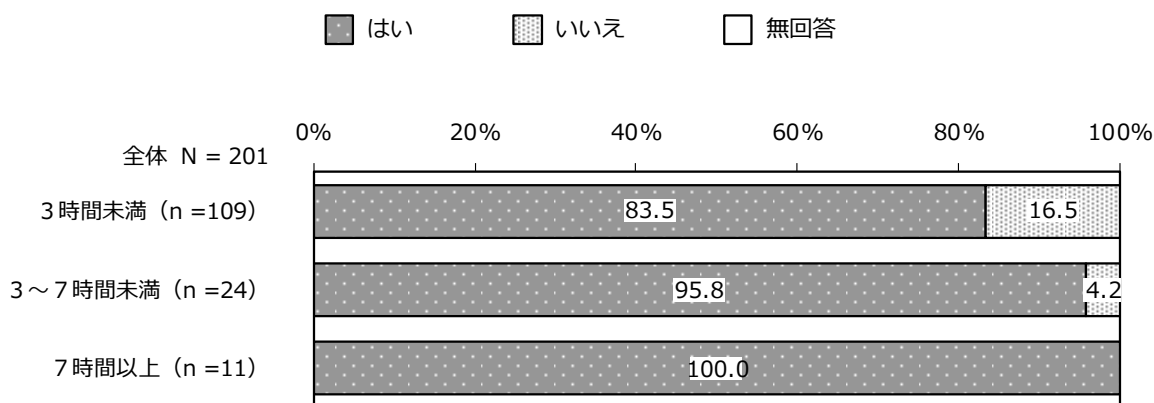
図表 157 平日1日あたりの世話に費やす時間×学校の遅刻や早退の状況



④平日1日あたりの世話に費やす時間×放課後の活動の状況

放課後の活動の状況については、世話に費やす時間が7時間以上の場合、ほかと比べて「はい（じゅくや習い事、スポーツクラブなどをしている）」の割合が高くなっている。

図表 158 平日1日あたりの世話に費やす時間×放課後の活動の状況



⑤平日1日あたりの世話に費やす時間×普段の学校生活などであてはまること

普段の学校生活などであてはまることについては、世話に費やす時間が7時間以上の場合、ほかと比べて「持ち物の忘れ物や提出物を出すのがおくれることが多い」の割合が高くなっている。また、3時間未満の場合、「特にない」の割合が高くなっている。

図表 159 平日1日あたりの世話に費やす時間×普段の学校生活などであてはまること（複数回答）

単位：%

区分	回答者数(件)	授業中に居ねむりすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物や提出物を出すのがおくれることが多い	部活動や習い事などを休むことが多い	修学旅行などの、宿泊行事を欠席する(河口湖移動教室などもふくむ)	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
3時間未満	109	12.8	13.8	23.9	11.0	0.9	1.8	3.7	5.5	59.6	0.9
3～7時間未満	24	12.5	16.7	33.3	20.8	-	4.2	4.2	4.2	41.7	-
7時間以上	11	18.2	18.2	45.5	18.2	-	-	9.1	9.1	27.3	9.1

⑥平日1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みや困りごと

現在の悩みや困りごとについては、世話に費やす時間が7時間以上の場合、ほかと比べて「友達との関係のこと」の割合が高くなっている。また、3～7時間未満、7時間以上の場合、「学校の成績のこと」の割合が高くなっている。

図表 160 平日1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みや困りごと（複数回答）

単位：%

区分	回答者数(件)	友達との関係のこと	学校の成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学校生活に必要なお金のこと	じゅくや習い事ができないこと	お金のこと	食費や家賃など生活に必要な	自分と家族との関係のこと	家族同士の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)	病気や障害のある家族のこと	少ないこと	自分のために使える時間が	その他	特にない	無回答
3時間未満	109	23.9	53.2	56.0	24.8	11.9	5.5	8.3	14.7	4.6	7.3	8.3	8.3	8.3	19.3	2.8	
3～7時間未満	24	20.8	62.5	45.8	20.8	12.5	4.2	12.5	16.7	8.3	12.5	4.2	12.5	16.7	-	-	
7時間以上	11	45.5	63.6	36.4	45.5	-	9.1	-	18.2	18.2	-	36.4	27.3	-	-	-	



⑦平日1日あたりの世話に費やす時間×世話の内容

世話の内容については、世話に費やす時間が7時間以上の場合、ほかと比べて「家事」、「家のお金の管理」、「医りよ的ケア」、「家計のサポート」の割合が高くなっている。また、3～7時間未満で「着替えや入浴、トイレの手伝いなど」、「見守り」の割合が高くなっている。

図表 161 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話の内容（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	家事（食事の準備や後かたづけ、そつじ、洗たく、買い物など）	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	着がえや入浴、トイレの手伝いなど	病院や買い物、散歩にいつしよに行き、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になるなど	見守り（転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど）	通訳（日本語の通訳や手話での通訳など）	家のお金の管理（お金の使い道を考えて、支払ったりするなど）	薬の管理（薬を飲んだか確認したり、わたしたりするなど）	医りよ的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること）	その他	無回答
3時間未満	109	18.3	20.2	32.1	14.7	32.1	61.5	1.8	1.8	4.6	-	0.9	8.3	1.8
3～7時間未満	24	29.2	29.2	41.7	25.0	25.0	70.8	4.2	-	4.2	-	-	8.3	-
7時間以上	11	36.4	27.3	36.4	36.4	36.4	63.6	9.1	18.2	27.3	9.1	18.2	18.2	-

⑧平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることによる生活への影響

世話をすることによる生活への影響については、世話に費やす時間が3～7時間未満の場合、ほかと比べて「勉強する時間がない」、「すいみんが十分に取れない」の割合が高くなっている。

図表 162 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることによる生活への影響（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	友達と遊べないことがある	部活動や習い事が思うようにできない	勉強する時間がない	学校に行けなかったり、ちこくや早退をしたりすることがある	すいみんが十分に取れない	その他	特にない	無回答
3時間未満	109	20.2	4.6	15.6	0.9	8.3	1.8	66.1	0.9
3～7時間未満	24	20.8	8.3	33.3	4.2	16.7	8.3	54.2	-
7時間以上	11	-	-	18.2	-	-	9.1	63.6	9.1

⑨平日1日あたりの世話に費やす時間×進路への影響

進路への影響については、いずれも「特に進路について考えるにあたってえいきょうを受けていない」の割合が最も高くなっている。

図表 163 平日1日あたりの世話に費やす時間×進路への影響（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	進学をあきらめ、就職を考えている	進学や就職をあきらめ、お世話に専念しようと考えている	進学先は、自宅から通えるところを選ぼうと考えている	就職先は、自宅から通えるところを選ぼうと考えている	特に進路について考えるにあたってえいきょうを受けていない	その他	無回答
3時間未満	109	-	-	11.9	2.8	78.9	5.5	3.7
3～7時間未満	24	4.2	-	4.2	4.2	83.3	4.2	-
7時間以上	11	-	-	9.1	-	54.5	36.4	9.1

⑩平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることについて感じていること

世話をすることについて感じていることでは、世話に費やす時間が長くなるにつれ、「精神的につらい」の割合が高くなっている。また、世話に費やす時間が3～7時間未満の場合、ほかと比べて「体力的につらい」、「時間のよゆうがない」の割合が高くなっている。

図表 164 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることについて感じていること（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	やりがいを感じている	楽しい	じゅうじつしている	体力的につらい	精神的につらい	時間のよゆうがない	特に何も感じていない	その他	無回答
3時間未満	109	37.6	45.0	18.3	4.6	3.7	10.1	26.6	8.3	0.9
3～7時間未満	24	62.5	45.8	33.3	16.7	16.7	29.2	12.5	8.3	-
7時間以上	11	36.4	27.3	27.3	-	18.2	18.2	36.4	27.3	-

⑪平日 1日あたりの世話に費やす時間×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、世話に費やす時間が3～7時間未満の場合、ほかと比べて「自由に使える時間がほしい」、「自分が自由に過ごせる場所がほしい」の割合が高く、世話に費やす時間が7時間以上の場合、ほかと比べて「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」、「家庭への金銭面でのしえんをしてほしい」の割合が高くなっている。

図表 165 平日 1日あたりの世話に費やす時間×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

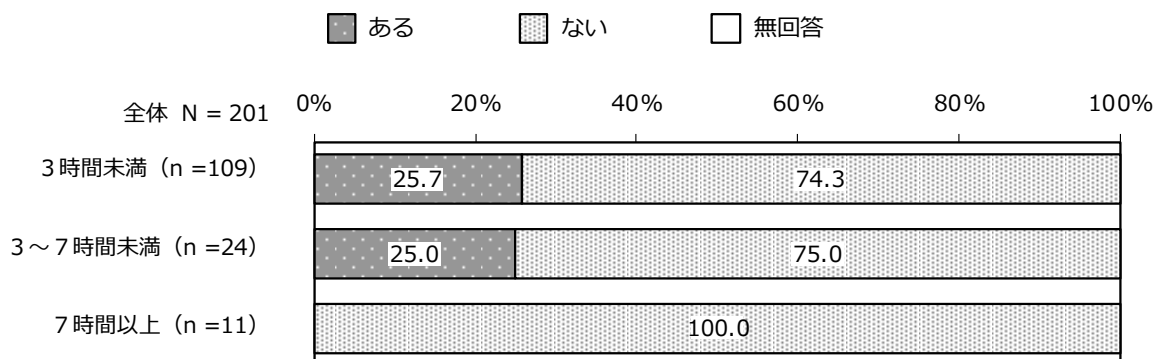
単位：%

区分	回答者数(件)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、お世話の仕方などについてわかりやすく説明してほしい	家族での相談や、話し合いのときにいっしょに参加してほしい	自分が行っているお世話を代わってくれ人或サービスがほしい	自由に使える時間がほしい	自分が自由に過ごせる場所がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面でのしえんをしてほしい	特にない	わからない	その他	無回答
3時間未満	109	11.0	3.7	-	1.8	0.9	10.1	8.3	6.4	16.5	5.5	57.8	9.2	3.7	1.8
3～7時間未満	24	12.5	4.2	8.3	4.2	4.2	33.3	29.2	12.5	25.0	8.3	45.8	4.2	4.2	-
7時間以上	11	-	-	-	-	-	18.2	18.2	-	36.4	18.2	27.3	9.1	18.2	-

⑫平日 1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談した経験の有無

世話について相談した経験の有無では、世話に費やす時間が3時間未満、3～7時間未満の場合、7時間以上の場合と比べて「(相談経験が) ある」の割合が高くなっている。

図表 166 平日 1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談した経験の有無



⑬平日1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由では、世話に費やす時間が7時間以上の場合、ほかと比べて「家族以外の人に相談するようななやみではないから」、「相談しても状況が変わるとは思わないから」、「自分のことをかわいそうと思われたり、変に思われたりしたくないから」の割合が高くなっている。

図表 167 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	だれかに相談するほどのなやみはないから	家族以外の人に相談するようになやみではないから	だれに相談するのがよいかわからないから	相談できる人が身近にいないから	家族のこのため話しくいから	家族のことを知られたくないから
3時間未満	81	79.0	11.1	7.4	3.7	4.9	1.2
3～7時間未満	18	72.2	16.7	11.1	—	16.7	5.6
7時間以上	11	72.7	36.4	—	9.1	18.2	9.1

区分	家族に対して偏見を持たれたくないから（親が何も悪く思われたくない）	相談しても状況が変わるとは思わないから	家庭の状況をわかってもらえないと思うから	自分のことをかわいそうと思われたり、変に思われたりしたくないから	その他	無回答
3時間未満	4.9	7.4	3.7	8.6	9.9	1.2
3～7時間未満	16.7	16.7	16.7	16.7	11.1	—
7時間以上	18.2	27.3	—	27.3	27.3	—

## (6) 世話を必要としている家族の世話の状況等

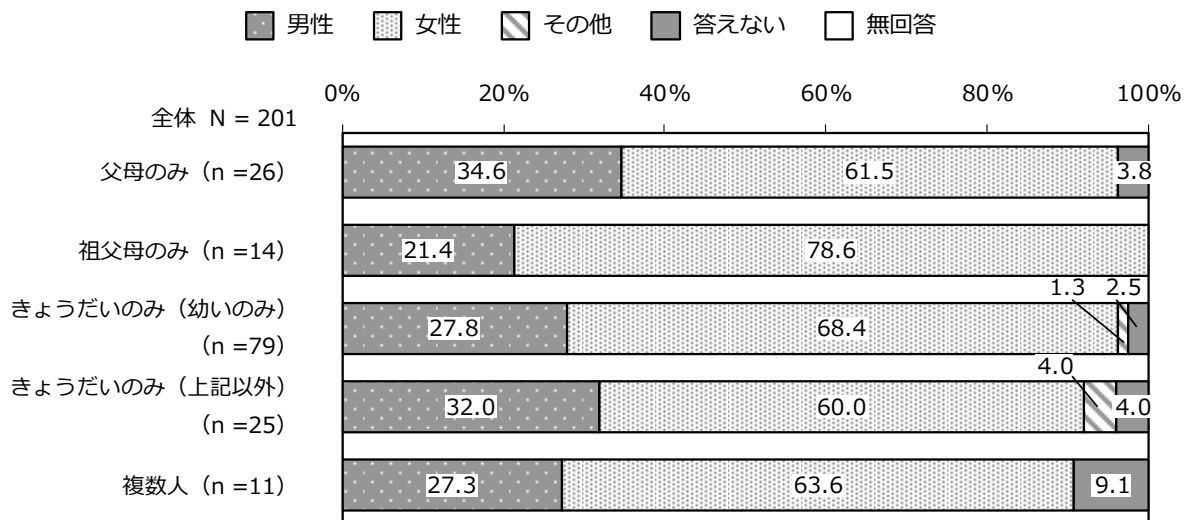
※世話を必要としている人ごとの特性を明らかにするため、世話を必要としている人が「父母のみ」、「祖父母のみ」、「きょうだいのみ（幼いのみ）」、「きょうだいのみ（「幼い」以外の理由を選択したもの。複数回答のため、「幼い」も選択している場合を含む。）」、「複数人（父母、祖父母、きょうだい、その他の4つの分類のうち、複数の分類に属する人を選択している場合。）」に分けて分析している。

また、世話を必要としている人が「その他のみ」については、対象が様々なためクロス集計では除外する。

### ①世話を必要としている家族×性別

性別については、世話を必要としている家族が祖父母のみの場合、ほかと比べて「女性」の割合が高くなっている。

図表 168 世話を必要としている家族×性別



②世話を必要としている家族×世話の内容

世話の内容については、世話を必要としている家族が複数人の場合、ほかと比べて「家事」の割合が高く、世話を必要としている家族が祖父母のみ、きょうだいのみ（上記以外）、複数人の場合、ほかと比べて「困りごとを聞く、話し相手になる」の割合が高くなっている。また、きょうだいのみ（幼いのみ）の場合、ほかと比べて「見守り」の割合が高くなっている。

図表 169 世話を必要としている家族×世話の内容（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	家事（食事の準備や後かたづけ、そうじ、洗たく、買い物など）	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	着がえや入浴、トイレの手伝いなど	病院や買い物、散歩にいつしよに行き、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になるなど	見守り（転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど）
父母のみ	26	65.4	－	11.5	19.2	19.2	7.7
祖父母のみ	14	21.4	－	－	42.9	50.0	50.0
きょうだいのみ（幼いのみ）	79	－	30.4	51.9	10.1	21.5	81.0
きょうだいのみ（上記以外）	25	－	28.0	20.0	12.0	44.0	60.0
複数人	11	72.7	18.2	18.2	27.3	45.5	27.3

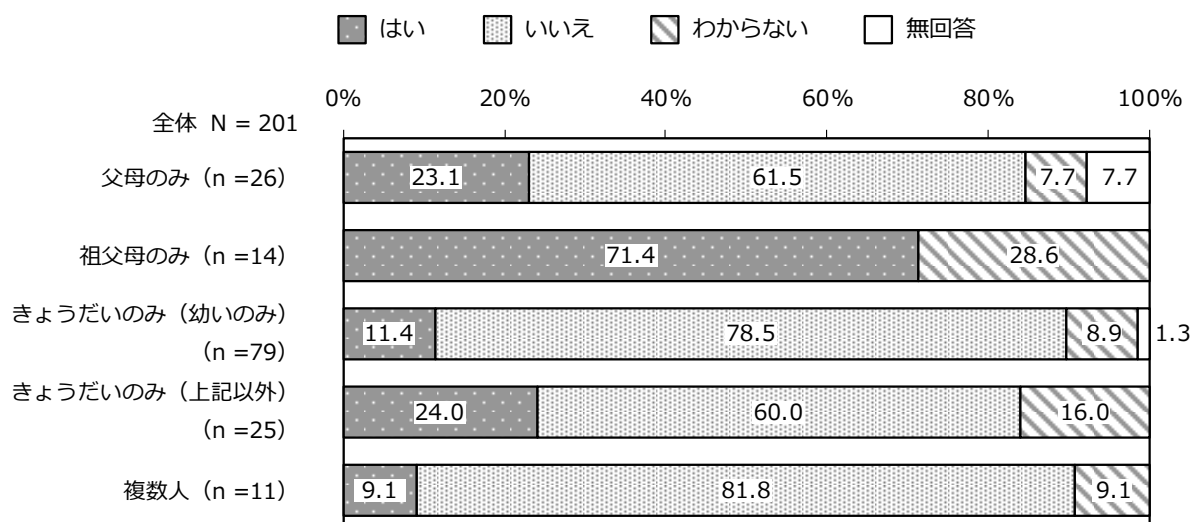
  

区分	通訳（日本語の通訳や手話での通訳など）	家のお金の管理（お金の使い道を考えたり、支払ったりするなど）	薬の管理（薬を飲んだか確認したり、わたしたりするなど）	経管栄養の管理など	医師よりのケア（たんの吸引や	働いたりにサポーター（家計を支えるためにアルバイトをしたり、	その他	無回答
父母のみ	3.8	15.4	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	11.5
祖父母のみ	－	－	14.3	－	－	－	7.1	－
きょうだいのみ（幼いのみ）	1.3	－	3.8	－	－	－	5.1	1.3
きょうだいのみ（上記以外）	8.0	－	8.0	－	－	－	12.0	8.0
複数人	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	36.4	18.2

③世話を必要としている家族×世話を必要としている家族の医療機関の利用の有無

世話を必要としている家族の医療機関の利用の有無については、世話を必要としている家族が祖父母のみの場合、ほかと比べて「はい」、「わからない」の割合が高く、世話を必要としている家族が複数人の場合、ほかと比べて「いいえ」の割合が高くなっている。

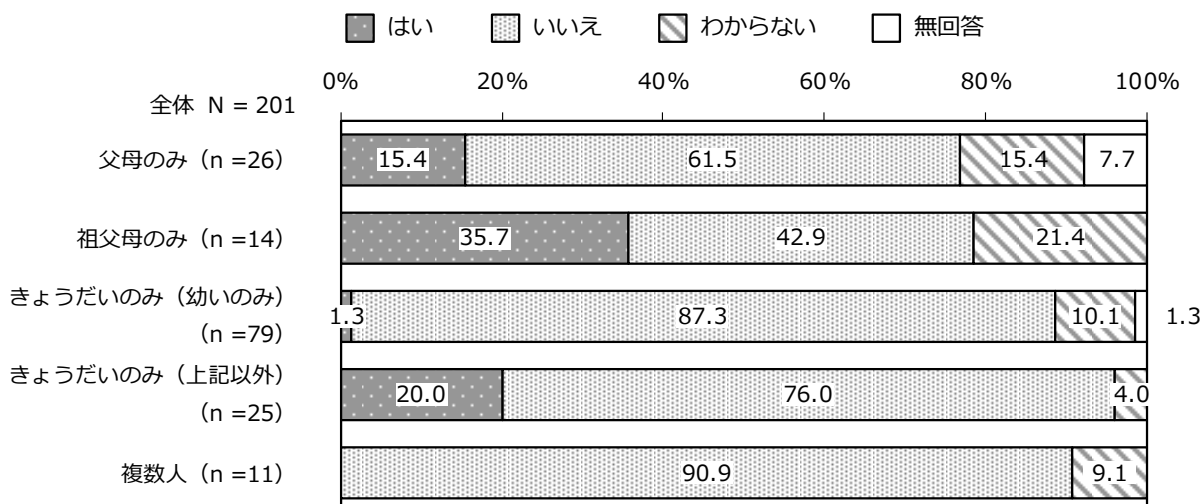
図表 170 世話を必要としている家族×世話を必要としている家族の医療機関の利用の有無



④世話を必要としている家族×世話を必要としている家族の福祉サービスの利用の有無

世話を必要としている家族の福祉サービスの利用の有無については、世話を必要としている家族が祖父母のみの場合、ほかと比べて「はい」、「わからない」の割合が高く、世話を必要としている家族が複数人の場合、ほかと比べて「いいえ」の割合が高くなっている。

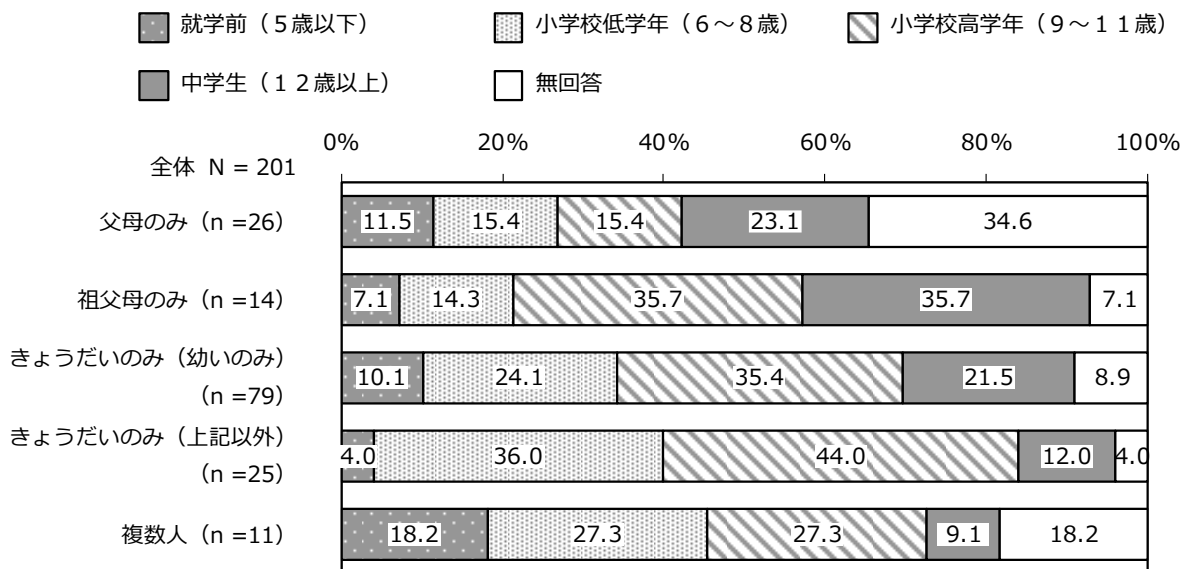
図表 171 世話を必要としている家族×世話を必要としている家族の福祉サービスの利用の有無



⑤世話を必要としている家族×世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、世話を必要としている家族がきょうだいのみ（上記以外）の場合、ほかと比べて「小学校低学年（6～8歳）」、「小学校高学年（9～11歳）」の割合が高くなっている。

図表 172 世話を必要としている家族×世話を始めた年齢

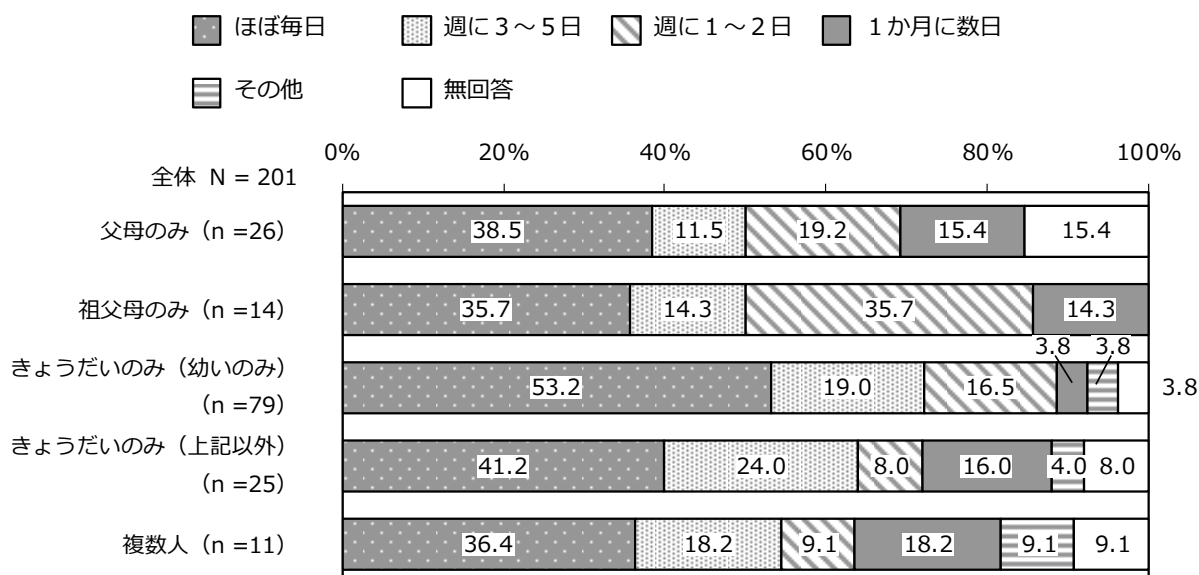




⑥世話を必要としている家族×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、世話を必要としている家族が祖父母のみの場合、ほかと比べて「週に1～2日」の割合が高く、世話を必要としている家族がきょうだいのみ（幼いのみ）の場合、ほかと比べて「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

図表 173 世話を必要としている家族×世話をしている頻度



⑦世話を必要としている家族×平日1日あたりの世話に費やす時間

平日1日あたりの世話に費やす時間については、世話を必要としている家族が複数人の場合、ほかと比べて「4時間以上」の割合が高くなっている。一方、きょうだいのみ（上記以外）の場合、「0時間（平日はお世話をしていない）」の割合が高くなっている。

※世話を必要としている家族が複数人いる場合、それぞれの世話に費やす時間を合算して集計する。

図表 174 世話を必要としている家族×平日1日あたりの世話に費やす時間

単位：%

区分	回答者数 (件)	0時間 (平日はお世話をしていない)	1時間～2時間未満 (1時間未満も含む)	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上	無回答
父母のみ	26	7.7	34.6	3.8	3.8	11.5	38.5
祖父母のみ	14	7.1	57.1	7.1	14.3	7.1	7.1
きょうだいのみ (幼いのみ)	79	2.5	62.0	6.3	8.9	13.9	6.3
きょうだいのみ (上記以外)	25	12.0	48.0	12.0	-	12.0	16.0
複数人	11	-	9.1	27.3	18.2	27.3	18.2

⑧世話を必要としている家族×休日1日あたりの世話に費やす時間

休日1日あたりの世話に費やす時間については、世話を必要としている家族が複数人の場合、ほかと比べて「6時間以上」の割合が高くなっている。一方、世話を必要としているのが祖父母のみの場合、ほかと比べて「1時間～2時間未満（1時間未満も含む）」の割合が高くなっている。

※世話を必要としている家族が複数人いる場合、それぞれの世話に費やす時間を合算して分析している。

図表 175 世話を必要としている家族×休日1日あたりの世話に費やす時間

単位：%

区分	回答者数(件)	0時間(休日はお世話をしていない)	1時間～2時間未満(1時間未満も含む)	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間～5時間未満	5時間～6時間未満	6時間以上	無回答
父母のみ	26	3.8	34.6	11.5	-	3.8	-	7.7	38.5
祖父母のみ	14	7.1	50.0	14.3	-	7.1	-	14.3	7.1
きょうだいのみ(幼いのみ)	79	6.3	35.4	20.3	7.6	1.3	3.8	19.0	6.3
きょうだいのみ(上記以外)	25	4.0	40.0	12.0	4.0	-	4.0	12.0	24.0
複数人	11	-	9.1	9.1	27.3	-	-	36.4	18.2

⑨世話を必要としている家族×世話をすることによる生活への影響

世話をすることによる生活への影響については、世話を必要としている家族がきょうだいのみ(上記以外)の場合、ほかと比べて「友達と遊べないことがある」、「勉強する時間がない」、「すいみんが十分に取れない」の割合が高くなっている。また、世話を必要としている家族が複数人の場合、ほかと比べて「部活動や習い事が思うようにできない」の割合が高くなっている。

図表 176 世話を必要としている家族×世話をすることによる生活への影響(複数回答)

単位：%

区分	回答者数(件)	友達と遊べないことがある	部活動や習い事が思うようにできない	勉強する時間がない	学校に行けなかったり、ちこくや早退をしたり、することがある	すいみんが十分に取れない	その他	特にない	無回答
父母のみ	26	15.4	3.8	15.4	-	3.8	-	57.7	7.7
祖父母のみ	14	14.3	7.1	21.4	-	14.3	-	78.6	-
きょうだいのみ(幼いのみ)	79	19.0	2.5	20.3	-	5.1	-	64.6	2.5
きょうだいのみ(上記以外)	25	28.0	4.0	24.0	4.0	24.0	-	52.0	4.0
複数人	11	9.1	18.2	18.2	9.1	18.2	36.4	54.5	-

⑩世話を必要としている家族×進路への影響

進路への影響については、世話を必要としている家族が父母のみ、きょうだいのみ（上記以外）の場合、ほかと比べて「進学先は、自宅から通えるところを選ぼうと考えている」の割合が高く、世話を必要としている家族が祖父母のみの場合、ほかと比べて「特に進路について考えるにあたってえいきょうを受けていない」の割合が高くなっている。

図表 177 世話を必要としている家族×進路への影響（複数回答）

単位：％

区分	回答者数（件）	進学をあきらめ、就職を考えている	進学や就職をあきらめ、お世話に専念しようと考えている	進学先は、自宅から通えるところを選ぼうと考えている	就職先は、自宅から通えるところを選ぼうと考えている	特に進路について考えるにあたってえいきょうを受けていない	その他	無回答
父母のみ	26	7.7	－	15.4	3.8	46.2	3.8	26.9
祖父母のみ	14	－	－	7.1	－	85.7	7.1	－
きょうだいのみ（幼いのみ）	79	－	－	7.6	2.5	75.9	7.6	7.6
きょうだいのみ（上記以外）	25	－	－	20.0	8.0	72.0	－	8.0
複数人	11	－	－	－	－	72.7	18.2	9.1

⑪世話を必要としている家族×世話をすることについて感じていること

世話をすることについて感じていることでは、世話を必要としている家族がきょうだいのみ（上記以外）の場合、ほかと比べて「特に何も感じていない」の割合が高く、世話を必要としている家族が複数人の場合、ほかと比べて「精神的につらい」の割合が高くなっている。

図表 178 世話を必要としている家族×世話をすることについて感じていること（複数回答）

単位：％

区分	回答者数（件）	やりがいを感じている	楽しい	じゅうじつしている	体力的につらい	精神的につらい	時間のよゆうがない	特に何も感じていない	その他	無回答
父母のみ	26	34.6	19.2	3.8	11.5	7.7	11.5	23.1	－	19.2
祖父母のみ	14	50.0	57.1	21.4	－	7.1	14.3	14.3	21.4	－
きょうだいのみ（幼いのみ）	79	40.5	50.6	27.8	7.6	3.8	12.7	24.1	5.1	－
きょうだいのみ（上記以外）	25	20.0	8.0	4.0	4.0	16.0	16.0	44.0	8.0	－
複数人	11	45.5	27.3	9.1	18.2	27.3	18.2	18.2	36.4	－

⑫世話を必要としている家族×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、世話を必要としている家族が祖父母のみの場合、ほかと比べて「自由に使える時間がほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」の割合が高く、世話を必要としている家族がきょうだいのみ（上記以外）の場合、ほかと比べて「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「自分が自由に過ごせる場所がほしい」の割合が高くなっている。

図表 179 世話を必要としている家族×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

単位：％

区分	回答者数（件）	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、お世話の仕方などについてわかりやすく説明してほしい	家族での相談や、話し合いのときにいっしょに参加してほしい	自分が行っているお世話を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	自分が自由に過ごせる場所がほしい
父母のみ	26	11.5	－	－	－	7.7	19.2	15.4
祖父母のみ	14	7.1	14.3	7.1	14.3	－	35.7	14.3
きょうだいのみ（幼いのみ）	79	5.1	1.3	－	1.3	－	7.6	6.3
きょうだいのみ（上記以外）	25	36.0	8.0	－	－	－	20.0	32.0
複数人	11	18.2	9.1	9.1	－	－	18.2	18.2

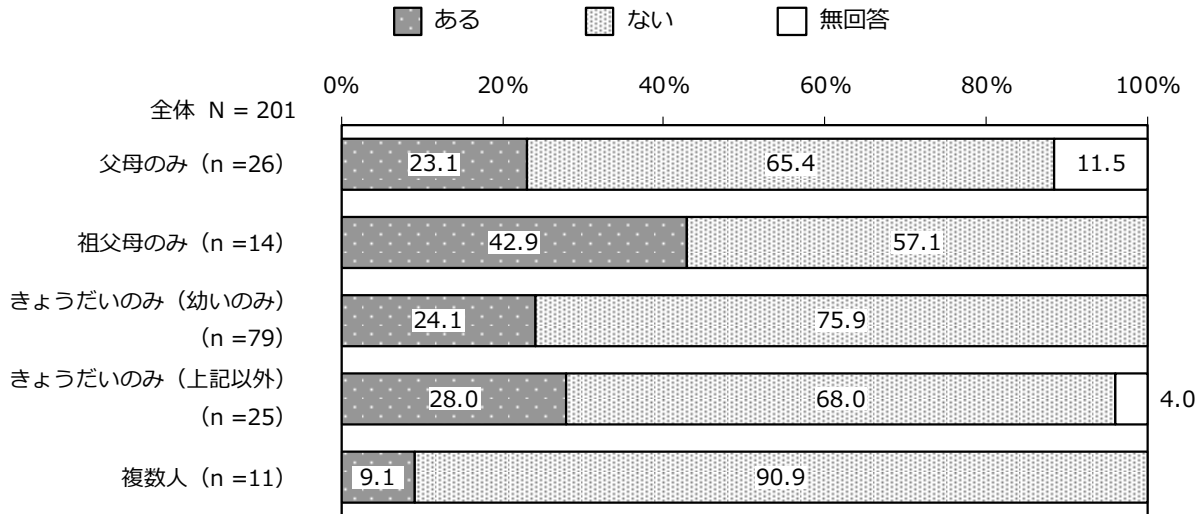
  

区分	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面でのおしえんをしてほしい	特になし	わからない	その他	無回答
父母のみ	7.7	26.9	15.4	38.5	3.8	－	7.7
祖父母のみ	21.4	28.6	7.1	35.7	－	－	－
きょうだいのみ（幼いのみ）	2.5	15.2	2.5	65.8	10.1	1.3	2.5
きょうだいのみ（上記以外）	12.0	12.0	12.0	40.0	4.0	8.0	4.0
複数人	9.1	9.1	－	54.5	－	27.3	9.1

⑬世話を必要としている家族×世話について相談した経験の有無

世話について相談した経験の有無では、世話を必要としている家族が祖父母のみの場合、ほかと比べて「(相談経験が) ある」の割合が高くなっている。

図表 180 世話を必要としている家族×世話について相談した経験の有無



⑭世話を必要としている家族×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由では、世話を必要としている家族がきょうだいのみ(上記以外)の場合、ほかと比べて「家族のこのため話しにくいから」の割合が高く、世話を必要としている家族が父母のみの場合、ほかと比べて「だれに相談するのがよいかわからないから」の割合が高くなっている。

図表 181 世話を必要としている家族×世話について相談したことがない理由（複数回答）

単位：%

区分	回答者数(件)	だれかに相談するほどの なやみはないから	家族以外の人に相談する ようななやみではないから	だれに相談するのがよいか わからないから	相談できる人が身近に いないから	家族のこのため 話しにくいから	家族のことを知られたく ないから
父母のみ	17	70.6	23.5	23.5	11.8	11.8	5.9
祖父母のみ	8	100.0	50.0	-	-	-	-
きょうだいのみ(幼いのみ)	60	86.7	10.0	3.3	3.3	3.3	1.7
きょうだいのみ(上記以外)	17	47.1	5.9	11.8	-	17.6	-
複数人	10	50.0	10.0	-	-	10.0	-

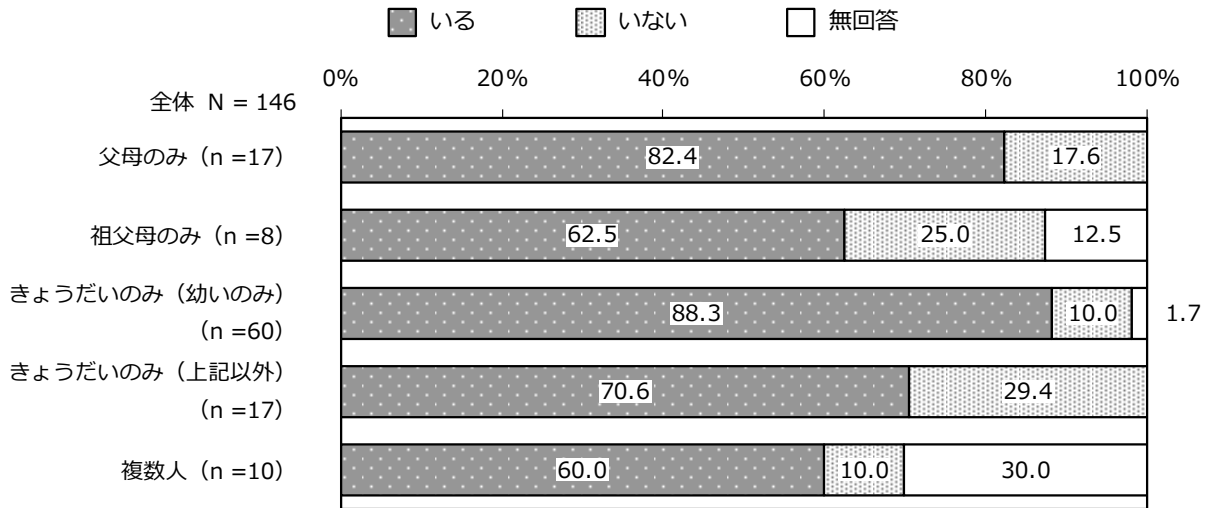
  

区分	家族に対して偏見を持たれた くないから	相談しても状況が変わるとは 思わないから	家庭の状況をわかって もらえないと思うから	自分のことをかわいそうと 思われたり変に思われたり したくないから	その他	無回答
父母のみ	17.6	17.6	5.9	17.6	5.9	5.9
祖父母のみ	-	-	-	12.5	-	-
きょうだいのみ(幼いのみ)	3.3	6.7	3.3	6.7	8.3	-
きょうだいのみ(上記以外)	17.6	11.8	5.9	17.6	17.6	5.9
複数人	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0

⑮世話を必要としている家族×世話の悩みについて聞いてくれる人の有無

世話の悩みについて聞いてくれる人の有無では、世話を必要としている家族が祖父母のみ、きょうだいのみ（上記以外）の場合、ほかと比べて「いない」の割合が高く、世話を必要としている家族がきょうだいのみ（幼いのみ）の場合、ほかと比べて「いる」の割合が高くなっている。

図表 182 世話を必要としている家族×世話の悩みについて聞いてくれる人の有無



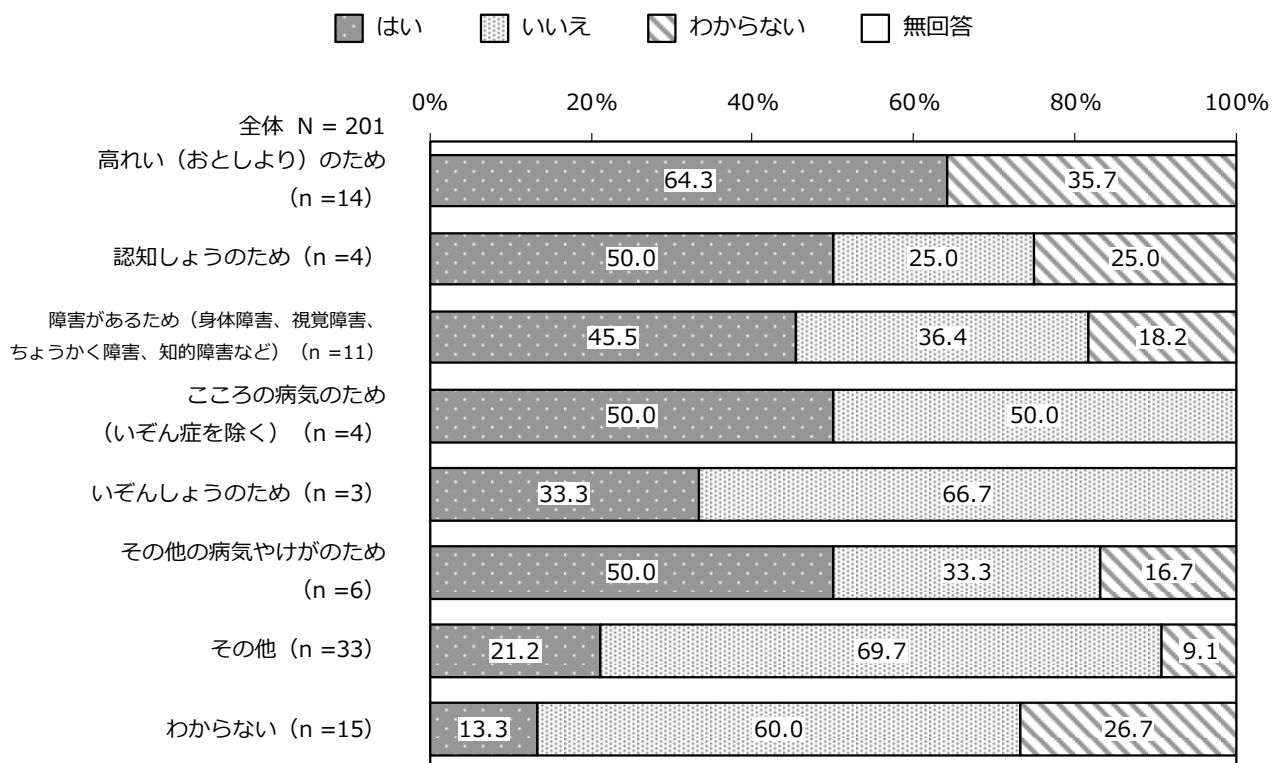
(7) 世話の理由別の世話をすることによる生活への影響等

①世話の理由×世話を必要としている家族の医療機関の利用の有無

世話を必要としている家族の医療機関の利用の有無については、世話の理由が高れい（おとしより）の場合、ほかと比べて「はい」の割合が高くなっている。

※「若い（小さい）ため」、「日本語が苦手なため」は、これらの理由のみで医療機関の利用をすることが想定されないため、除外して集計した。

図表 183 世話の理由（複数回答）×世話を必要としている家族の医療機関の利用の有無



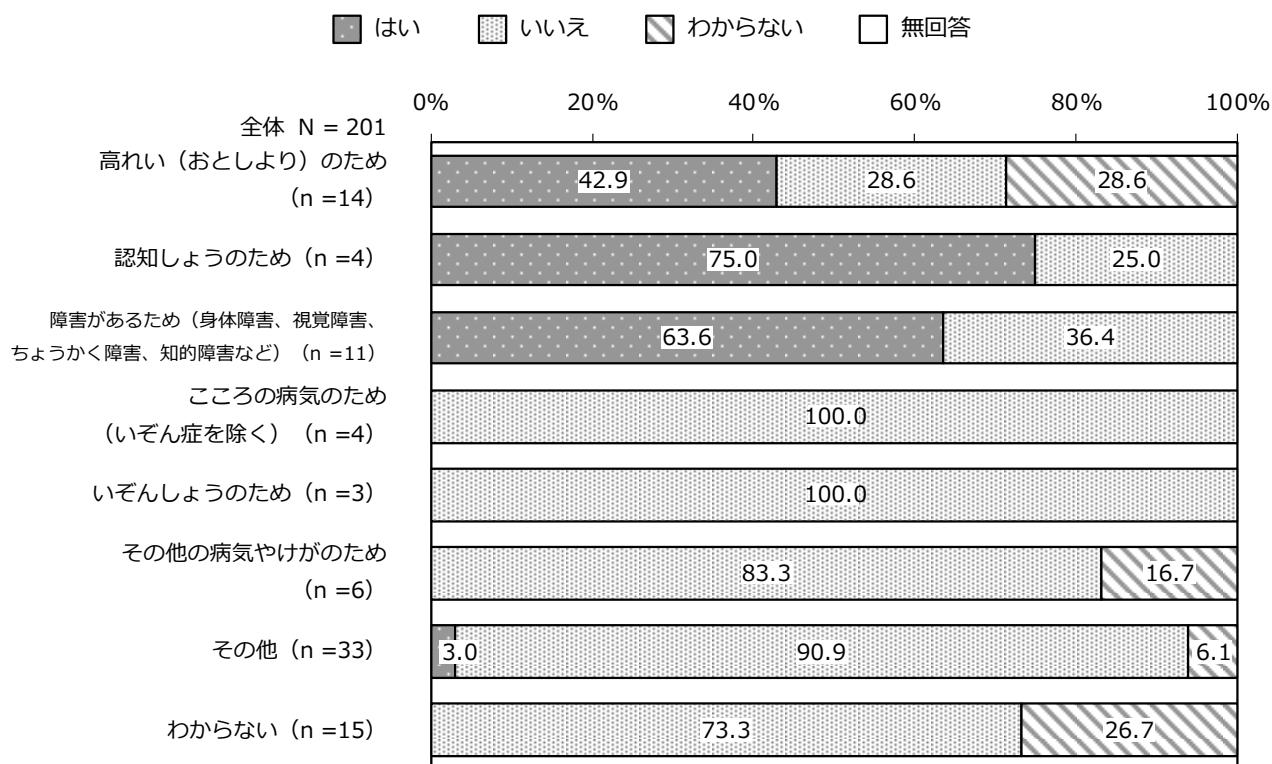


②世話の理由×世話を必要としている家族の福祉サービスの利用の有無

世話を必要としている家族の福祉サービスの利用の有無については、世話の理由が認知しようのための場合、「はい」の割合が高くなっている。

※「若い（小さい）ため」、「日本語が苦手なため」は、これらの理由のみで福祉サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）を利用することが想定されないため、除外して集計した。

図表 184 世話の理由（複数回答）×世話を必要としている家族の福祉サービスの利用の有無



③世話の理由×世話をする事による生活への影響

世話をする事による生活への影響については、世話の理由が認知しようのための場合「部活動や習い事が思うようにできない」の割合が高く、日本語が苦手なための場合「勉強する時間がない」、「すいみんが十分に取れない」の割合が高くなっている。

図表 185 世話の理由（複数回答）×世話をする事による生活への影響（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	友達と遊べないことがある	部活動や習い事が思うようにできない	勉強する時間がない	学校に行けなかったり、ちこくや早退をしたりすることがある	すいみんが十分に取れない	その他	特にない	無回答
高い（おとしより）のため	14	14.3	-	7.1	-	7.1	-	78.6	-
幼い（小さい）ため	86	19.8	2.3	19.8	-	7.0	1.2	60.5	3.5
認知しようのため	4	-	25.0	-	-	-	-	75.0	-
障害があるため（身体障害、視覚障害、 ちようかく障害、知的障害など）	11	18.2	-	9.1	-	9.1	-	72.7	9.1
こころの病気のため（いぞんしょうを除く）	4	-	-	25.0	-	-	-	75.0	-
いぞんしょうのため	3	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-
その他の病気やけがのため	6	-	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	83.3	-
日本語が苦手なため	3	33.3	-	100.0	-	66.7	-	-	-
その他	33	21.2	12.1	24.2	6.1	18.2	15.2	54.5	-
わからない	15	33.3	6.7	33.3	-	20.0	-	46.7	-

④世話の理由×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、世話の理由がいぞんしょうのための場合「家庭への金銭面でのしえんをしてほしい」の割合が高く、その他の病気やけがのための場合「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」、「自由に使える時間がほしい」の割合が高くなっている。

図表 186 世話の理由（複数回答）×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、お世話や仕方などについてわかりやすく説明してほしい	家族での相談や、話し合いのときにいっしょに参加してほしい	自分が行っているお世話やサビスがほしい	自由に使える時間がほしい	自分が自由に過ごせる場所がほしい
高れい（おとしより）のため	14	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	21.4	14.3
若い（小さい）ため	86	4.7	1.2	-	1.2	-	9.3	8.1
認知しょうのため	4	-	-	-	-	-	25.0	-
障害があるため（身体障害、視覚障害、ちようかく障害、知的障害など）	11	18.2	-	-	-	-	-	18.2
こころの病気のため（いぞんしょうを除く）	4	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0
いぞんしょうのため	3	-	-	-	-	-	33.3	33.3
その他の病気やけがのため	6	50.0	33.3	16.7	-	-	50.0	50.0
日本語が苦手なため	3	33.3	-	-	-	-	33.3	66.7
その他	33	21.2	6.1	3.0	6.1	3.0	27.3	27.3
わからない	15	20.0	6.7	-	-	-	20.0	20.0

区分	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験を頑張りたい	家庭への金銭面でのしえんをしてほしい	特にない	わからない	その他	無回答
高れい（おとしより）のため	21.4	28.6	7.1	35.7	-	-	-
若い（小さい）ため	2.3	14.0	2.3	65.1	10.5	1.2	2.3
認知しょうのため	-	25.0	-	75.0	-	-	-
障害があるため（身体障害、視覚障害、ちようかく障害、知的障害など）	-	-	9.1	54.5	9.1	-	-
こころの病気のため（いぞんしょうを除く）	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	-
いぞんしょうのため	-	33.3	66.7	33.3	-	-	-
その他の病気やけがのため	33.3	33.3	33.3	16.7	-	33.3	-
日本語が苦手なため	-	-	-	33.3	-	-	-
その他	18.2	30.3	12.1	30.3	6.1	15.2	3.0
わからない	-	13.3	-	53.3	6.7	-	6.7

(8) 世話をすることについて感じていることによる世話の状況の違い

①世話をすることについて感じていること×世話の理由

世話の理由については、じゅうじつしていると感じている場合、ほかと比べて「若い(小さい)ため」の割合が高くなっている。一方、精神的につらいと感じている場合、ほかと比べて「こころの病気のため(いぞんしょうを除く)」の割合が高くなっている。

図表 187 世話をすることについて感じていること(複数回答)×世話の理由(複数回答)

単位：%

区分	回答者数(件)	高れい(おとしより)のため	若い(小さい)ため	認知しようのため(ものを覚える力低下し、今までどおり生活できなくなってしまう状態)	障害があるため(身体障害、視覚障害、聴覚障害、知的障害など)	こころの病気のため(いぞんしょうを除く)	抱えられている状態(お酒やギャンブルなどやめられず、生活に問題を抱えている状態)	その他の病気やけがのため	日本語が苦手なため	その他	わからない	無回答
やりがいを感じている	69	13.0	49.3	-	4.3	1.4	-	4.3	4.3	20.3	7.2	8.7
楽しい	74	9.5	56.8	1.4	1.4	-	-	2.7	1.4	17.6	4.1	13.5
じゅうじつしている	33	9.1	69.7	-	-	-	-	3.0	-	15.2	6.1	3.0
体力的につらい	13	-	53.8	7.7	7.7	-	-	7.7	-	30.8	-	7.7
精神的につらい	15	6.7	33.3	-	-	13.3	6.7	20.0	6.7	33.3	6.7	13.3
時間のよゆうがない	22	4.5	59.1	-	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	31.8	4.5	4.5
特に何も感じていない	50	4.0	42.0	2.0	12.0	2.0	4.0	2.0	-	14.0	8.0	20.0
その他	15	20.0	33.3	6.7	-	6.7	-	13.3	-	40.0	6.7	-

②世話をすることについて感じていること×世話の内容

世話の内容では、精神的につらいと感じている場合、ほかと比べて「困りごとを聞く、話し相手になる」の割合が高く、じゅうじつしていると感じている場合、ほかと比べて「見守り」の割合が高くなっている。

図表 188 世話をすることについて感じていること（複数回答）×世話の内容（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	家事（食事の準備や後かたづけ、そうじ、洗たく、買い物など）	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	着がえや入浴、トイレの手伝いなど	病院や買い物、散歩にいつしよに行き、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になるなど	見守り（転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど）
やりがいを感じている	69	26.1	24.6	31.9	23.2	27.5	56.5
楽しい	74	17.6	25.7	32.4	17.6	28.4	56.8
じゅうじつしている	33	15.2	33.3	45.5	27.3	36.4	78.8
体力的につらい	13	38.5	30.8	30.8	30.8	30.8	61.5
精神的につらい	15	40.0	20.0	26.7	13.3	46.7	46.7
時間のよゆうがない	22	31.8	40.9	36.4	22.7	31.8	59.1
特に何も感じていない	50	14.0	10.0	24.0	10.0	18.0	52.0
その他	15	40.0	13.3	26.7	26.7	33.3	60.0

区分	通訳（日本語の通訳や手話での通訳など）	家のお金の管理（お金の使い道を考えたり、支払ったりするなど）	薬の管理（薬を飲んだか確認したり、わたしたりするなど）	引や経管栄養の管理など	医りよう的ケア（たんの吸引や経管栄養の管理など）	家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること）	その他	無回答
やりがいを感じている	2.9	2.9	5.8	-	1.4	5.8	5.8	
楽しい	1.4	1.4	4.1	-	-	2.7	13.5	
じゅうじつしている	3.0	3.0	9.1	-	-	-	3.0	
体力的につらい	7.7	7.7	7.7	7.7	-	7.7	7.7	
精神的につらい	-	-	6.7	-	-	20.0	13.3	
時間のよゆうがない	9.1	-	-	-	-	13.6	-	
特に何も感じていない	-	4.0	4.0	-	-	4.0	20.0	
その他	6.7	13.3	33.3	6.7	13.3	26.7	-	

③世話をすることについて感じていること×世話をすることによる生活への影響

世話をすることによる生活への影響については、やりがいを感じている、楽しい、じゅうじつしていると感じている場合、「特にない」の割合が最も高く、体力的につらい、精神的につらい、時間のよゆうがないと感じている場合、「友達と遊べないことがある」、「勉強する時間がない」、「すいみんが十分に取れない」の割合が高くなっている。

図表 189 世話をすることについて感じていること（複数回答）×世話をすることによる生活への影響（複数回答）

単位：%

区分	回答者数（件）	友達と遊べないことがある	部活動や習い事が思うようにできない	勉強する時間がない	学校に行けなかったり、ちこくや早退をしたり、することがある	すいみんが十分に取れない	その他	特にない	無回答
やりがいを感じている	69	11.6	1.4	15.9	1.4	7.2	2.9	75.4	—
楽しい	74	10.8	2.7	14.9	—	9.5	1.4	75.7	1.4
じゅうじつしている	33	18.2	6.1	12.1	—	9.1	3.0	75.8	—
体力的につらい	13	46.2	30.8	53.8	7.7	30.8	15.4	7.7	—
精神的につらい	15	20.0	13.3	66.7	6.7	33.3	13.3	20.0	—
時間のよゆうがない	22	45.5	18.2	63.6	4.5	27.3	9.1	9.1	—
特に何も感じていない	50	16.0	—	6.0	2.0	4.0	2.0	70.0	6.0
その他	15	13.3	6.7	20.0	—	13.3	20.0	53.3	—

④世話をすることについて感じていること×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、やりがいを感じている、楽しい、じゅうじつしていると感じている場合、「特にない」の割合が最も高く、体力的につらい、精神的につらい、時間のよゆうがないと感じている場合、「自由に使える時間がほしい」、「自分が自由に過ごせる場所がほしい」、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」の割合が高くなっている。

図表 190 世話をすることについて感じていること（複数回答）×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）

単位：%

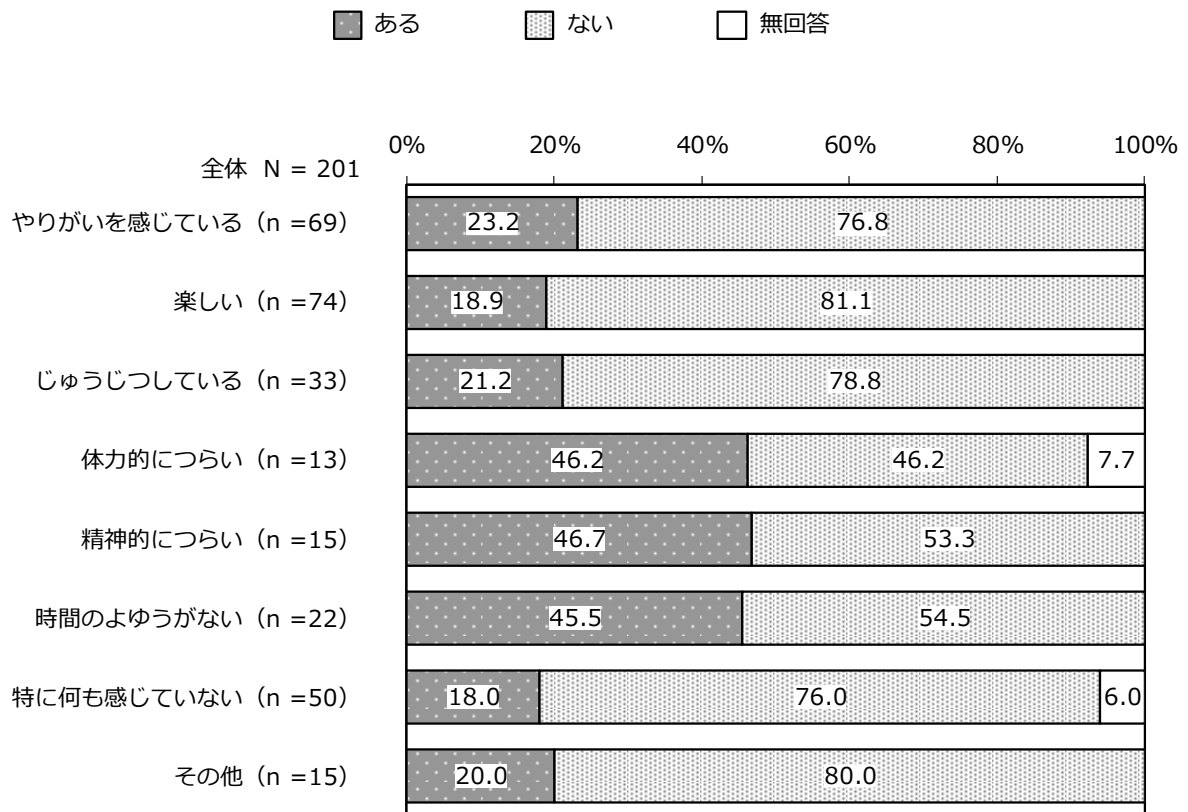
区分	回答者数（件）	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談のつてほしい	家族の病気や障害、お世話の仕方などについてわかりやすく説明してほしい	家族での相談や、話し合いのときにいっしょに参加してほしい	自分が行っているお世話を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	自分が自由に過ごせる場所がほしい
やりがいを感じている	69	7.2	1.4	1.4	1.4	1.4	10.1	11.6
楽しい	74	4.1	-	-	2.7	-	6.8	6.8
じゅうじつしている	33	6.1	-	-	3.0	-	9.1	6.1
体力的につらい	13	38.5	7.7	7.7	-	-	61.5	53.8
精神的につらい	15	53.3	26.7	6.7	-	-	66.7	60.0
時間のよゆうがない	22	22.7	18.2	4.5	4.5	-	54.5	40.9
特に何も感じていない	50	10.0	-	2.0	-	2.0	10.0	8.0
その他	15	26.7	6.7	-	-	-	26.7	33.3

区分	進路や就職など将来の相談のつてほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい	家庭への金銭面でのしえんをしてほしい	特にない	わからない	その他	無回答
やりがいを感じている	5.8	13.0	-	60.9	8.7	2.9	2.9
楽しい	4.1	13.5	1.4	64.9	6.8	1.4	4.1
じゅうじつしている	3.0	18.2	-	60.6	9.1	3.0	-
体力的につらい	23.1	53.8	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7
精神的につらい	26.7	40.0	26.7	6.7	-	20.0	6.7
時間のよゆうがない	18.2	45.5	13.6	27.3	13.6	4.5	-
特に何も感じていない	8.0	16.0	10.0	58.0	8.0	2.0	-
その他	6.7	13.3	6.7	26.7	13.3	26.7	-

⑤世話をすることについて感じていること×世話について相談した経験の有無

世話について相談した経験の有無では、体力的につらい、精神的につらい、時間のよゆうがないと感じている場合、ほかと比べて「(相談経験が) ある」の割合が高くなっている。

図表 191 世話をすることについて感じていること (複数回答) ×世話について相談した経験の有無





⑥世話をすることについて感じていること×世話について相談したことがない理由

世話について相談したことがない理由では、体力的につらい、精神的につらい、時間のよゆうがないと感じている場合、ほかと比べて「相談しても状況が変わると思わないから」、「自分のことをかわいそうと思われたり、変に思われたりしたくないから」の割合が高くなっている。

図表 192 世話をすることについて感じていること（複数回答）×世話について相談したことがない理由（複数回答）

単位：%

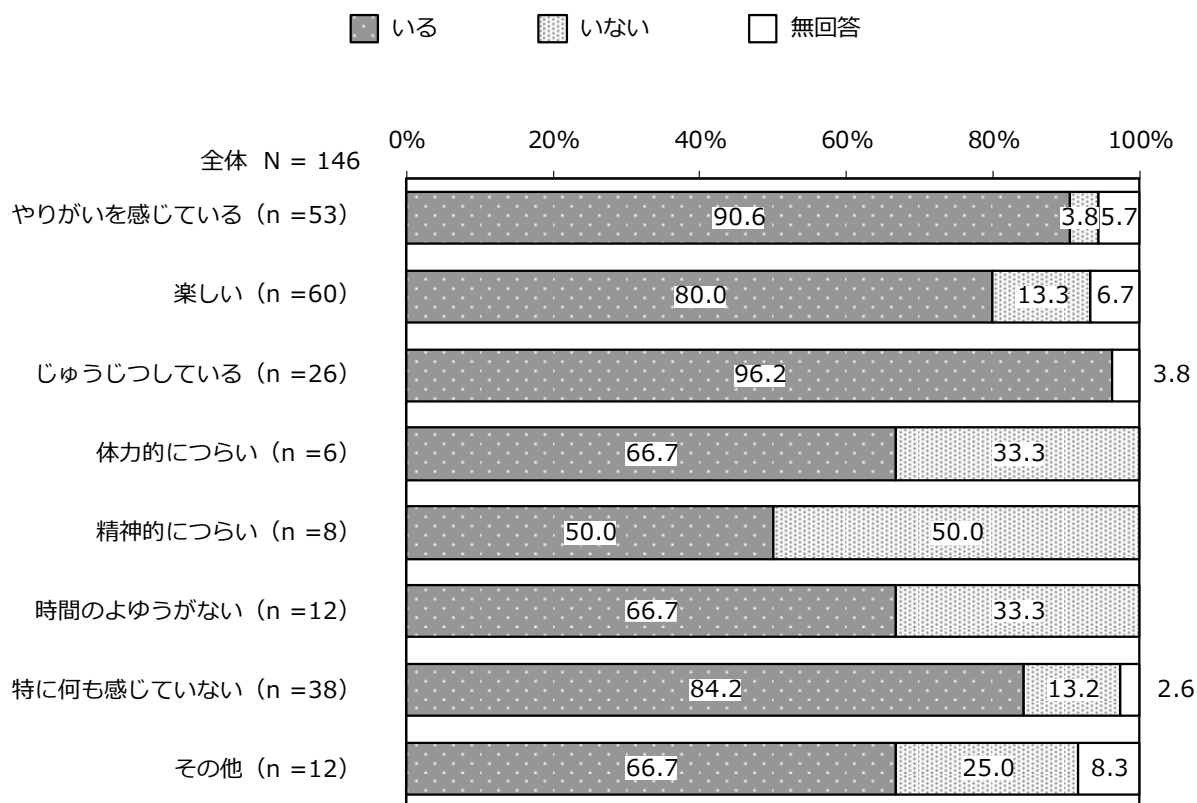
区分	回答者数（件）	だれかに相談するほどのなやみはないから	家族以外の人に相談するから	だれに相談するのがよいかかわらないから	相談できる人が身近にいないから	家族のこのため話しくいから	家族のことを知られたくないから
やりがいを感じている	53	77.4	15.1	5.7	-	5.7	1.9
楽しい	60	80.0	15.0	5.0	3.3	3.3	1.7
じゅうじつしている	26	88.5	11.5	-	-	-	-
体力的につらい	6	50.0	33.3	33.3	-	16.7	-
精神的につらい	8	37.5	37.5	25.0	12.5	50.0	-
時間のよゆうがない	12	66.7	33.3	25.0	8.3	41.7	8.3
特に何も感じていない	38	81.6	7.9	2.6	2.6	2.6	2.6
その他	12	58.3	25.0	8.3	-	16.7	8.3

区分	家族に対して偏見を持たれたくないから（親が何も悪く思われたくない）	相談しても状況が変わると思わないから	家庭の状況をわかってもらえないと思うから	自分のことをかわいそうと思われたり、変に思われたりしたくないから	その他	無回答
やりがいを感じている	5.7	3.8	-	7.5	15.1	3.8
楽しい	5.0	6.7	-	8.3	8.3	5.0
じゅうじつしている	3.8	3.8	-	7.7	11.5	-
体力的につらい	-	50.0	33.3	33.3	-	-
精神的につらい	25.0	62.5	37.5	50.0	-	12.5
時間のよゆうがない	33.3	41.7	33.3	33.3	-	-
特に何も感じていない	5.3	5.3	2.6	7.9	13.2	2.6
その他	8.3	33.3	16.7	16.7	16.7	-

⑦世話をすることについて感じていること×世話の悩みについて聞いてくれる人の有無

世話の悩みについて聞いてくれる人の有無では、やりがいを感じている、楽しい、じゅうじつしていると感じている場合、ほかと比べて「いる」の割合が高く、体力的につらい、精神的につらい、時間によゆうがないと感じている場合、ほかと比べて「いない」の割合が高くなっている。

図表 193 世話をすることについて感じていること（複数回答）×世話の悩みについて聞いてくれる人の有無

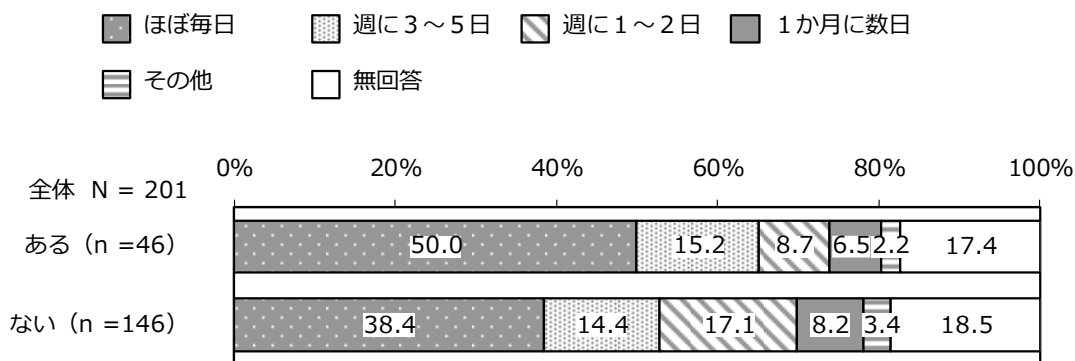


(9) 世話に関する相談の状況

①世話に関する相談の経験×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、相談したことがあると回答した場合、ないと回答した場合と比べて「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

図表 194 世話に関する相談の経験×世話をしている頻度



②世話に関する相談の経験×世話をすることによる生活への影響

世話をすることによる生活への影響については、相談したことがあると回答した場合、ないと回答した場合に比べて「友達と遊べないことがある」、「勉強する時間がない」、「すいみんが十分に取れない」の割合が高く、相談したことがないと回答した場合、「特にない」の割合が高くなっている。

図表 195 世話に関する相談の経験×世話をすることによる生活への影響（複数回答）

単位：%

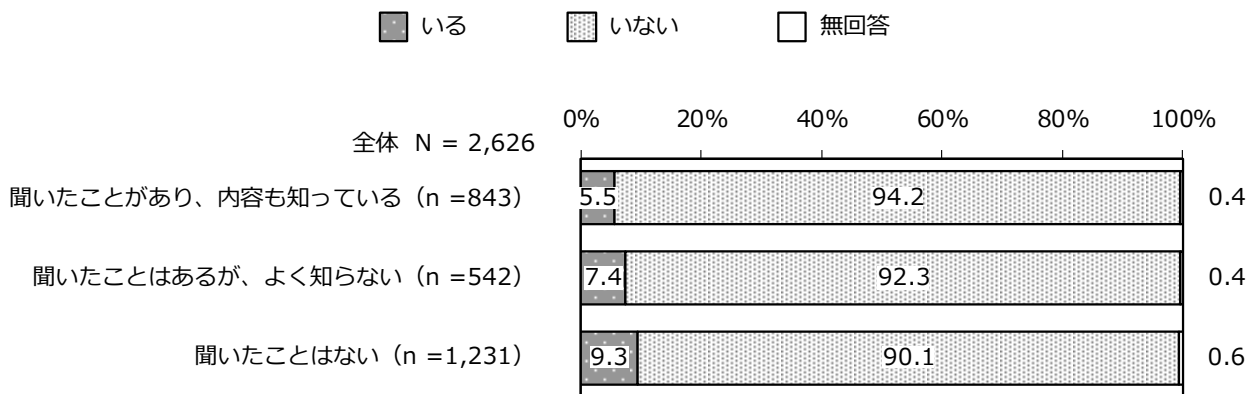
区分	回答者数(件)	ある 友達と遊べないことがある	部活動や習い事がない 思うようにできない	勉強する時間がない	学校に行けなかったり、 ちこくや早退をしたり、 することがある	すいみんが十分に 取れない	その他	特にない	無回答
あり	46	26.1	6.5	30.4	2.2	15.2	2.2	43.5	4.3
ない	146	13.0	2.7	13.0	0.7	7.5	2.7	69.9	5.5

(10) ヤングケアラーについての知識と世話の有無

① 「ヤングケアラー」という言葉の認知度×家族の世話の有無

家族の世話の有無については、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことはないと回答した場合、ほかと比べて「いる」の割合が高くなっている。

図表 196 「ヤングケアラー」という言葉の認知度×家族の世話の有無



#### 4. 自由意見

アンケート調査において、さまざまな自由意見が寄せられた。ここでは、その一部を紹介する。  
以下に記載する意見は、原文を基本としつつ、一部編集・抜粋のうえ記載している。

##### (1) 世話をしている家族がいると回答した人の自由意見

###### ①子どもの声

意見
こどもが誰かの世話をするのはおかしいことではないと思うけれど、その子供が嫌だと感じていることがあるならばおかしいと思う。
学校の先生たちは、「大人に相談してね」とか「なんでも聞くよ」とかいうけれど、どうしても話にくい事はあるし、先生と私たちは他人だということを理解してほしいです。また、世間からしたらそこまでのことじゃ無くて、実は死ぬほど苦しんでいる人もいるということを知ってほしいです。そして、私の親がそうなかでもかもしれませんが、家族のストレスから逃げられる生きがいになったことを受け入れてくれないのは想像以上に苦しくて悔しいのです。だから、友達もよく言っていますが、不登校になる子や、急に泣き出してしまいう子、うつ病の子、自殺をしてしまった子の気持ちもよくわかります。よく、自殺をする意味がわからないとか、死ぬなら迷惑かけずに死ねとか言われますが、そんな人には理解できない程、自分でもどうすれば良いかわからない程、ただただ苦しいのです。誰も信じられなくて、人を気持ち悪いと思ってしまう自分が気持ち悪いのです。それだけを理解して、大人の人には寄り添ってもらえれば満足です。「名前は知られない」ということなのでこの場に書かせていただきました。全ての苦しんでいる子たちの思いが人々に少しでも伝わりますように。
私も昔は放課後 1 人で夜まで過ごしたり、夕食を自分で用意することがありました。今は諸事情で家族と一緒に長く過ごすことができている。ヤングケアラーへの支援を進めるには、悩みを聞いてもらえる人を探して聞いてもらったり、積極的に助けを求めることが重要だと思います。実際私の友達にも前親が妹の面倒で忙しく、朝食を自分で作っていました。そういう人の相談をしっかり聞いて、助けてあげたいです。自分で自立をしすぎた上に、不登校になったりしてしまうと、周りも自分も可哀想なので、さっき言ったようなことをしっかり支援していきたいです。

###### ②話を聞いてほしい、理解してほしい

意見
友達だとまた別の人に話そうで怖い。理解してくれていると思うけど、不安。本当に話していいのかわからない。電話越しや、知らない人に知られても大丈夫なのか、バラされないか不安。
特に深刻に悩んでいることはないが、ヤングケアラーの中には親の負担を減らしたいと思って自らやっている人もいるのだともっと理解してほしい。

### ③要望、求める支援

意見
ヤングケアラーを一括りにせず、生活に支障のあるヤングケアラーと、私のようなほとんど影響のないヤングケアラーとに分類すべき。ヤングケアラーに支援を！と言っても、人によってそれぞれ必要な支援は違うし、だからそういう観点でも分類すべきだと思う。
本当に辛い人は声を上げることができないと言うのを、まず理解して欲しいです。幼い頃から続けていることに関しては当たり前だと思ってしまうのが、よくあります。私自身も過去に色々あったので声を上げるのが難しい、当たり前ではないことを当たり前と思ってしまう、ということの辛さや悲しさを痛感しています。日頃から家族以外の身近な人たちが少しでも、当たり前障りなく、言い方は悪いですが、ダイレクトに聞くよりも誘導尋問のようにして聞くと、当事者の方々は話しやすいと思います。探られているな、と気付かれぬように話を聞いてみるとより良いと思います。
ヤングケアラーに対して、「凄いな」や「偉いな」という感想を持つのではなく、介護をして充実した生活が送れてない若い人がいることは異常なことだということを知り、ヤングケアラーについての知識を深め支援の輪を広げていくべきだと思う。他人事のように感じないで、もし身近にそういう人がいた時にしっかり寄り添える人になるべきだと思う。
もっと、困っている人たちのことをすぐに気づいてあげてほしい。

### ④ヤングケアラーに必要なと思う支援

#### (ア) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

意見
ヤングケアラーの子たちが自分の人生を人のためでなく自分のために楽しめるようになってほしい。そのためにこのようなアンケート調査や相談室の設立はとても必要だと思う。そうして少しでもヤングケアラーの子たちが悩んだし抱えたりしている問題を周りの人に理解してもらって、解決につなぐ道を作ってあげることが大切だと思う。ヤングケアラーの子たちは多分親を楽にさせたい、自分がやらないといけないなどの自分のやっていることに対する責任を重く感じ、家族に相談する空気感でない家庭が多いと思う。その中でもし誰かに相談をして親に知られたらどうなるかという、不安を抱えているためにこのような機会があっても、正直な気持ちを話すことができずに苦しめられている子もいると思う。そういう子たちのためにも個人的な相談に乗る時間や少しでもリラックスして話せる空間があることでその子たちのケアになるんじゃないかなと思った。

#### (イ) 学校におけるサポートや配慮

意見
ヤングケアラーの支援を広げていくために、私は学校に相談室を設けるだけではなく、定期的に全員のカウンセリングを行うことが大切だと思う。対1で話を聞くことが普段、人を頼ることができていないヤングケアラーの人たちの思いを楽にすることにつながると思ったからだ。
そういった悩みのある人へのちょっとした面談。勉強面で追いつけていなければちょっとした個別授業。

(ウ) 周囲の大人の理解や寄り添い

意見
家族のお世話や手助けをしている若い人達の中で、「楽しい」と感じていたり、特に困っていない人達は、もちろんお手伝いなどはいい事なのでそれぞれが自分らしいやり方、方法で続けていくのがいいと思います。でも、中には負担を感じていたり、それによって困っていたり、辛い思いをしている人も沢山いて、そんな人達はやはり、誰かが少しでも手を差し伸べてあげないといけないと思います。また、その中でも自分から相談できない人もいて、その人達は周りの誰かが気づき、悩みなどの話を聞いてあげることが必要だと思います。
私は話したいこともないし、話したいとも思ってないけど、そう言うことは家族にも話しにくいし、他人に簡単に話せることじゃないと思うから気づいてあげようとするのが大事だし、何もなくて見えても悩みを抱えてるかもしれないことを頭に置いて人と接することが必要だと思う。
自分の時間が欲しい。大人の人達には、少しだけでも良いから、“気づいて欲しい”と思いました。声掛けでも良いんです。「大丈夫?」、「偉いね」とかでも良いんです。その褒め言葉がヤングケアラーの子達を少しでも救えると思うんです。
家族の支援などが必要な家族などがいて、その家族を看病するために自分のことは後回しにしている子どもがいることを知る必要があると思う。

(エ) その他支援の充実等

意見
ヤングケアラーの子供たちが安心できる場所を作り、それを広める。勉強、進学への支援など。わたしは全然大丈夫ですが、世の中にはヤングケアラーで困っている子供たちも沢山いると思うので、その子供たちを支援する制度をしっかりと作っていくといいと思います。

(2) 世話をしている家族がいないと回答した人の自由意見

①子どもの声

意見
あまり子供の事情は大人が突っ掛かってはいけません、なぜなら子供からすると、自分で解決したいのに大人が入ってくるのは正直言って面倒くさいからです、なので大人の方も子供の現状や気持ちを理解して協力していくのが大事だと思います。
全ての人が平等で、我慢をしない世の中になってほしい。
自分ではよくわからないけど、ヤングケアラーというものがあって毎日大変な思いをしている人が少しでも少なくなればいいと思った。
私はヤングケアラーではないが、親の代わりに家事をやるが多々ある。ただこれはあくまで私の趣味なので、やらされているということは全く無い。そういう家庭もあるので無闇に可哀想などと決めつけずに温かい目で見守ってほしい。

②ヤングケアラーに必要なと思う支援

(ア) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

意見
もっと、ヤングケアラーになやんでいるひとなどに質問してみる。
誰もが悩みを打ち明けることができる世界になってほしいです。
私の近くにヤングケアラーの子がいるかもしれないけど、私には分かりません。その子はあまり人に言いたくないのかもしれないけど、誰か気持ちを分かってくれる人がいたら心の支えになると思います。
一度その人に違和感のようなものが見られたら、相談に乗ってあげたりするなどで、気が付いたのに無視をするのを控えた方がいい。
子供が遠慮なく相談出来る立ち位置をつくと減ると思う。

(イ) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

意見
誰かに話すことのできる環境づくりをすることが大切。
誰にも相談できないヤングケアラーの子供をもっとたくさん見つけてあげて、今まで我慢してきた気持ちとか、本当の気持ちを伝えられる場を作って欲しい。助けを求めることができない子供や、今の状況が当たり前だと思ってしまっている子供が少しでも減るようにしてほしい。また、家族の介護やお世話の手伝いをしてもらえるような環境を作ってあげて欲しいです。
大変で難しいことだとは思いますが、基本ヤングケアラーの人は他の人に知られたくなくて言わないから余計にストレスなどが溜まってしまっていると思うから大人（先生など）が、子供に対してよく接するようにしてみんなの小さな変化に気づいてあげたらいいと思う。



(ウ) 学校におけるサポートや配慮

意見
家族の面倒を見ることで学校生活や自分自身がおろそかになっていくかもしれないので、みんなで支え合うことが大切だと思います。
生徒などにヤングケアラーがいるなら、そのことを認知しておく。(担任の教師など)
学校の授業などでも積極的にヤングケアラーについての説明などを行い、多くの人に知ってもらう必要がある。子供を保護したり、支援を行っていく必要がある。
学校などでヤングケアラーのサポートをする。(相談を聞くなど)

(エ) 周囲の大人の理解や寄り添い

意見
大人の人たちにはヤングケアラーについてよく知ってもらい、世の中にはこういう人たちがいるということを知ってほしい。
困ったら頼れる人がいると良いのだと思います。
ヤングケアラーではないのでよくは分からないけれど、周りにちゃんと頼れる、助けてくれる人がいたら少しでも楽にはなるんじゃないかなと思います。
もっとたくさんの人の事情を聞いて、理解してもらいたい。

(オ) その他支援の充実等

意見
介護しきれない学生たちがいるから障害がある人の保護施設などを作ってほしい。
税金を使って介護施設入るためのお金の負担を削ってもらうこと。そうすることによって介護施設に入れるための資金がないというのが理由で10代の人が介護をしなくて済む人がたくさん出ると思いました。その他の資金的な案は奨学金制度のような一定以上の年収を所得してない家庭は利子が発生せずにお金を借りることができる。
まわりの人達(例:友達)が大変な人を助けたりして(ヤングケアラーの人やお世話されている人の)負担を減らす。学校や大人はその行動を手伝ったりしていろんな人の負担を減らす。
ヤングケアラーへの支援を広げるためには、まず日本の経済を楽にし、次の世代が金に困らないようにする。そこから始めるべきだと思う。

③ ヤングケアラーの普及啓発に向けて必要なこと

意見
ポスターの活動や呼びかけをして、知名度やその内容などを知ってもらったら良いと思います。
まず、ヤングケアラーが世の中に少なくとも存在するというのを知ってもらうことが一番大切だと思います。動画サイトで拡散するのはいい例だと思いました。もっとヤングケアラーに関する記事が取り上げてほしいと思います。
このような調査を定期的におこなうようにする。
ヤングケアラーを知らないという人はまだ、少なくないからニュースで取り上げていく必要があると思う。ヤングケアラーについての授業をしてほしい。実際に経験している人の話を聞けば、身近な問題だと受け止めることができると思った。
ヤングケアラーの意味がわからなかったなので、もっと大々的に広げた方がいいと思う。